



届けたいのはブランドではなく、  
造り手の魂の結晶です。

Millésimes  
WINE COLLECTIONS

Domaine  
Robert Scuffier  
Brie & Pinot  
Premières récoltes

Les vendanges  
du domaine  
de la Beldone  
à Pesquera

LES  
VIN  
2018

VINTE  
PESQUERA



## ミレジムの4つのビジョン

---

### コストパフォーマンス

月に一度しか飲めない5000円のワインより、  
毎週開けたい3000円のワインを。ヴァリューにこだわっています。

### 入手のしやすさ

おいしくても幻のワインでは意味がない。  
一定の生産量があるワインを確保しています。

### わかりやすい味わい

長い説明をしなくても、飲めばすぐにわかる。  
プロにも愛好家にもわかりやすいワインをそろえています。

### 高いパーカー・ポイント

ロバート・パーカーの得点は目安にすぎません。  
でも、結果的に高得点のワインが充実しています。

Japan

France

シゼン・シリーズ (Japan) ..... Shizen Series	6
ドゥニ・デュブルデュー (France / Bordeaux) ..... Denis Dubourdieu	7
シャトー・レ・トロワ・クロワ (France / Bordeaux) ..... Château Les Trois Croix	8
ボルドーセレクション (France / Bordeaux) ..... Bordeaux Selections	9
クロード・デュガ (France / Bourgogne) ..... Claude Dugat	10
ラ・ジブリヨット (France / Bourgogne) ..... La Gibryotte	11
ドメヌ・ピエール・ダモワ (France / Bourgogne) ..... Domaine Pierre Damoy	12
メゾン・リケール (France / Bourgogne) ..... Maison Rijckaert	13
ジャン・マルク・ミヨ (France / Bourgogne) ..... Jean Marc Millot	14
ロベール・グロフィエ (France / Bourgogne) ..... Robert Groffier	15
ベルナル・モロー (France / Bourgogne) ..... Bernard Moreau	16
フィリップ・シャヴィ (France / Bourgogne) ..... Philippe Chavy	17
ドメヌ・イヴ・ボワイエ・マルトノ (France / Bourgogne) ..... Domaine Yves Boyer Martenot	18
ポール・ガローデ (France / Bourgogne) ..... Paul Garaudet	19
ヴァンサン・デュレイユ・ジャンティアル (France / Bourgogne) ..... Vincent Dureuil-Janthial	20
ドメヌ・ド・シャントメルル フランシス・ブダン (France / Bourgogne) ..... Domaine de Chantemerle Francis Boudin	21
ジャン・ジャック・リトー (France / Bourgogne) Jean Jacques Litaud	
ドメヌ・イノソンティ (France / Bourgogne) Domaine Innocenti	
ドメヌ・ド・ラ・マドンヌ (France / Bourgogne) ..... Domaine de La Madone	22
ドメヌ・デュ・ペゴール (France / Rhône) ..... Domaine du Pégau	23
シャトー・ペゴール (France / Rhône) ..... Château Pégau	24
ロジェ・サボン (France / Rhône) ..... Roger Sabon	25
ドメヌ・ド・ボールナル (France / Rhône) ..... Domaine de Beurenard	26
クロ・ド・トウリア (France / Rhône) ..... Clos de Trias	27
ドメヌ・ド・レードル (France / Languedoc-Roussillon) Domaine de l'edre	
パスカル・コタ (France / Loire) ..... Pascal Cotat	28
フランソワ・コタ (France / Loire) François Cotat	
ドメヌ・デュ・マージュ (France / Gascogne) ..... Domaine du Mage	29
シャトー・デ・サラン (France / Provence) ..... Château des Sarrins	30
シャトー・ド・マット・サブラン (France / Languedoc-Roussillon) ..... Château de Mattes Sabran	31
ドメヌ・サン・ティレール (France / Languedoc-Roussillon) Domaine Saint Hilaire	





## Italy

ブルーノ・パイヤール (France / Champagne) ..... Bruno Paillard	32
スパークリングワイン ..... ルボア Lebeault (France / Bourgogne)	33
リオンド Riondo (Italy)	
ラ・テート・ノワール La Tête Noir (France / Provence)	
ヴィトー・アルベルティ L. Vitteaut-Alberti (France / Bourgogne)	
カルレス・アンドレウ Carles Andreu (Spain)	
フントディ (Italy / Tuscany) ..... Fontodi	34
アルド・コンテルノ (Italy / Piemonte) ..... Aldo Conterno	35
サセッティ・リヴィオ・ペルティマリ (Italy / Tuscany) ..... Sassetti Livio - Pertimali	36
プロドゥットーリ・デル・バルバレスコ (Italy / Piemonte) ..... Produttori del Barbaresco	37
カステッロ・ディ・タッサローロ (Italy / Piemonte) Castello di Tassarolo	

## Spain

アレハンドロ・フェルナンデス (Spain) ..... Alejandro Fernández	38
ボデガス・カルチェロ (Spain) ..... Bodegas Carchelo	39
ホルヘ・オルドニェス (Spain) ..... Jorge Ordóñez	40
ボデガス・ヴォルヴェール (Spain) ..... Bodegas Volver	41
ボデガス・アルト・モンカヨ (Spain) Bodegas Alto Moncayo	
ボデガス・アンヘル・ロドリゲス・ヴィダル (Spain) ..... Bodegas Angel Rodriguez Vidal	42
パソス・デ・ルスコ (Spain) Pazos de Lusco	
ボデガス・トロ・アルバラ (Spain) Bodegas Toro Albalá	

## Israel

ゴラン・ハイツ・ワイナリー (Israel) ..... Golan Heights Winery	43
ガリル・マウンテン・ワイナリー (Israel) ..... Galil Mountain Winery	44

## Australia

トルブレック (Australia) ..... Torbreck	45
パウエル&サン (Australia) ..... Powell & Son	46
オーストラリアン・ドメーン・ワイン (Australia) ..... Australian Domaine Wines	47
ヌーン (Australia) Noon	

## New Zealand

デルタ・ワイン・カンパニー (New Zealand) ..... Delta Wine Company	48
---	----

## U.S.A.

ハートフォード・ファミリー・ワイナリー (U.S.A. / California) ..... Hartford Family Winery	49
ダイヤモンド・クリーク・ヴィンヤーズ (U.S.A. / California) ..... Diamond Creek Vineyards	50
エドミーズ (U.S.A. / California) Edmeades	

## Argentine

ボデガ・ヴァレンティン・ビアンキ (Argentine) ..... Bodega Valentin Bianchi	51
---	----

## Portugal

シミントン (Portugal/Port) ..... Symington	52
ジュステイーノ (Portugal/Madeira) Justino	
ミニ・ボトル・セレクション ..... 187ml mini Bottle Selections	53
ノンアルコール Manoir des Sacres	
オリーブオイル Château de Montfrin	

FUJISAN  WINERY

# 世界に広がる寿司ワイン ベルトラン・レオンがコンサルタント

## Shizen Series

シゼン・シリーズ



### ロバート・パーカーが評価

甲州種から造る Shizen は、日本の農業に活力を取り戻す ジャパン・ワイン・プロジェクトの産物だ。世界ブームの和食に合うワインを目指して、2003年にスタートした。

成果はすぐに現れた。ボルドー大のドゥニ・デュブルデュ教授がコンサルタントしたワインを、来日したロバート・パーカーが試飲。「こんなにピュアで美しいワインを飲んだのは初めて」と評価し、「寿司ワイン」と名付けた。

世界基準を念頭に置いたワイン造りを続けて、過剰な補糖を止め、搾汁率を50%まで下げた。食用向けの棚栽培ではなく、垣根仕立てで栽培を進めた。2007年、国産ワインで初めてEU への輸出が認められ、2011年、世界文化遺産に認定された富士山を望む富士山ワイナリーが誕生した。



### デュブルデュ教授の遺産を パトリック・レオンが継承

フランスのフィガロ紙やNYタイムズ紙に称賛されたワインのコンサルタントは、亡くなったデュブルデュ教授から、ボルドー 1 級シャトー・ムートン・ロートシルトの技術責任者を務めたパトリック・レオンと息子のベルトランに受け継がれた。オーパスワンも手がけたレオンも、教授と同様に、各地のワインをコンサルティングしてきた。「世界に通用する甲州ワインを造る」という教授の夢が引き継がれ、「シゼン・スパークリング甲州」が生まれた。

手摘みしたブドウを搾った果汁を24か月以上、オリと共に熟成し、デゴルジュマン後の熟成期間も3年以上とっている。シャンパーニュを連想させる透明感と石のようなミネラル感を秘めた品格のあるスパークリングだ。和食との相性が抜群なのは言うまでもない。



Shizen Sparkling Koshu

Domaine Shizen



## 白ワインの魔術師の遺産を家族で継承 偉大なワインは畑とセラーで造られる

# Denis Dubourdieu

ドゥニ・デュブルデュエ

  
France / Bordeaux

### デュブルデュエ教授の知識を息子が引き継ぐ

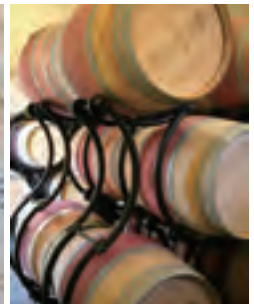
ドゥニ・デュブルデュエはワイン・コンサルタントの世界に大きな足跡を残した。シャトー・ディケム、シュヴァル・ブランなどを抱える5本の指に入る実力者だった。世界の潮流を知るパレットと、ボルドー第二大学醸造学部教授として培った知識は、世界の知的財産だった。「マセラシオン・ペリキュレール(スキンコンタクト)」の技術で、ボルドーの白ワイン造りを革新し、「白ワインの魔術師」と呼ばれた。

教授は2016年に亡くなったが、彼の遺産はファブリスとジャン・ジャックの2人の息子たちに受け継がれた。ファブリスは醸造資格を有し、ジャン・ジャックもブドウの調達や醸造を担当する。教授は元々、コンサルタントで世界を飛び回っていたため、息子たちが実務をこなしていた。

### 価格以上の価値がある

ボルドーに5つのシャトーを家族で経営している。ソーテルヌのドワジー・デーヌ、カントグリル、グラヴのクロ・フロリデーヌ、オーラ、コート・ド・ボルドーのレイノン所有する。

ドワジー・デーヌはソーテルヌで初めて辛口白ワインを造った。2級格付けだが、特別なキュヴェのレクストラヴァガン・ド・ドワジー・デーヌは多くの1級をしのぐ。クロ・フロリデーヌは、教授のセンスが冴える辛口の白ワインが有名で、レイノンは親しみやすい赤ワインで知られる。どのワインも教授



の経験と技術をフルに発揮した、価格以上の価値があるワインばかりだ。

「ワインは畑で造られる」とは、多くの造り手が口にするが、デュブルデュエは「偉大なワインは畑だけでなく、セラーでも造られる」と語っていた。教授の哲学はそのまま生きている。



Château Reynon

Clos Floridene

Château Doisy-Daene

L'Extravagant de Doisy-Daene



## ムートンの元醸造責任者の一家が手造り ボルドー右岸フロンサックの可能性を開拓

# Château Les Trois Croix



シャトー・レ・トロワ・クロワ

### 1級ワインの技術で手の届くワインを

シャトー・ムートン・ロートシルトとオーパスワン。ボルドーとカリフォルニアを代表するワインを手掛けた醸造責任者が、その能力をフルに発揮して、手の届く価格でまとめたワイン。それが、ボルドー右岸のフロンサックから産するシャトー・レ・トロワ・クロワだ。

パトリック・レオンが引退後の1995年から手造りで始めたワインは、メルロとカベルネ・フランが主体。左岸のカベルネ・ソーヴィニオンとは違うが、さすがは1級シャトーの栄光を守ってきた醸造家。フロンサックとは思えない洗練ぶりに仕上がっている。

樽を回転させてラッキング(澱引き)するオクソラインを用いて、18か月間の新樽熟成を施している。メルロ80%とカベルネ・フラン20%。凝縮度としなやかなタンニンが両立し、あふれるばかりの果実味。バランスのよさは、サンテミリオンのグラン・クリュ・クラッセに匹敵する。



### サンテミリオンに匹敵する果実味とバランス

亡くなったパトリックと共にワインを造り、今では中心人物の息子ベルトランは「フロンサックの土壌はサンテミリオンの粘土石灰岩と共通する。ネゴシアンが積極的でなかったため知名度は低い、ポテンシャルは大きい。人生をかけて、そのイメージを変えたい」と、熱い想いを語る。

通常のレ・トロワ・クロワのほかに、セニエによるロゼも少量だけ生産されている。赤ワインを醸造する過程で、樽から抜いて造るロゼは、フルーティで、幅広い料理に合わせられる。元々は家族の結婚式のために造られたのが始まり。ロゼブームの昨今にあって、通だけが知るワインとなっている。

ボルドーの市場を左右する評論家ロバート・パーカーは、トロワ・クロワを、新ヴィンテージが出るたびに試飲して評価する。毎年のように、新たなスターが登場している現代にあって、安定した実力がある証拠だ。パーカーは「パトリック・レオンは、自宅を構えるエステートからのワインに深みと豊かさを加えた」と評している。



Les Trois Croix Rose

Château Les Trois Croix Rouge



# 品質の向上が著しいボルドーから ヴァリューの高い魅惑のセレクション

## Bordeaux Selections

ボルドーセレクション



### ボルドーセレクション

世界のワイン産地の中で、最もスピード感があるのがボルドーだ。表面は変わらないように見えるが、シンクロナイズドスイミングのように、水面下は猛烈なスピードで、ワイン造りが進化している。メドックには1855年の格付けがあり、サンテミリオンも定期的な更新されるが、格付けが価格を決めるわけではない。ボルドーは基本的にオープンマーケットで、品質と世界の需要によって価格が変動する。評論家の評価が低くなれば、価格も下がる。競争原理が働くため、生産者は投資を怠らず、品質向上の努力を続けている。ミシェル・ロラン、ドゥニ・デュブルデュ、ステファン・

デュルノクール、エリック・ボワスノら、世界の先端を行く醸造コンサルタントがワイン造りを支えている。

その恩恵は格付けシャトーだけでなく、小規模なシャトーも受けている。現代ボルドーの基本フォーマットが固まったのは1982年ヴィンテージだが、その後の30年で産地全体の品質が上がった。ボルドー市場を左右する評論家ロバート・パーカーも事あるごとに、そのことを口にする。ここでは、そうしたプチシャトーから選んだ魅惑のセレクションを紹介している。お手ごろ価格ながら、発見の多いワインがそろっている。



Bordeaux de Maucaillou  
Bordeaux Superieur



Ronan by Clinet Rouge



Ronan by Clinet Blanc  
Bordeaux



Château Camus  
Graves



Le Haut Medoc de Maucaillou  
Haut Medoc



Château Robin  
Côtes de Castillon



Château Larrivaux  
Haut Medoc



Château D'Escurac  
Medoc



Château Tour Seran  
Medoc



Château Pipeau  
St.Emilion Grand Cru



# 畑仕事がすべての品質を決める 神品造り出すブルゴーニュの聖人

## Claude Dugat

クロード・デュガ



France / Bourgogne

ロバート・パーカーが選ぶ世界の偉大なワイナリー156のひとつ  
The World's Greatest Wine Estates Robert M. Parker

### 豊かさとしつこさ ワイン観変える神品

クロード・デュガはブルゴーニュの聖人だ。端正な顔に浮かべる笑顔は、清らかで、温かみがある。彼の造るワインも純粋で、飲み手を幸せにする力があふれている。

ドメーヌはジュブレ・シャンベルタン村の外れ。教会の向かいにある。セリエ・デ・ディームと呼ばれる中世の村人が税として収める作物の貯蔵庫をセラーに使う。世界中の愛好家が探し求めるワインが、そこに眠っている。

所有と借地を合わせて6ヘクタール。村名のジュブレ・シャンベルタンですら、1級に肩を並べる複雑さと凝縮感を備える。1、2樽しかできないグリオット、シャルム、シャペル・シャンベルタンは目にするのも難しいが、口にすればワイン観が変わるような神品だ。

繊細さを秘めた豊かさとしつこさは、抽出によるものではない。低収量で収穫した小粒のブドウから来る。控えめなクロードは口にしないが、馬による耕作や有機栽培をいち早く導入したことは、他の造り手が認めている。醸造は簡素で、当たり前となった低温浸漬も温度管理もしない。



### 日本は最大の輸出市場

「畑仕事がすべての品質を決める。肥料を撒くのは1986年に止めた。いいブドウの収穫がすべてを決める」

父モーリスの時代の1977年に自家元詰めを開始。91年にクロード・デュガの名前で詰め始め、今は子供も加わる。

小さなころから仕事を手伝っていたので、何年働いているかもわからないという。「ワイン業界の人々に支えられてきた。素晴らしい人生だ」と、感謝を忘れていない。

畑仕事が忙しく、海外に出かける余裕もない。ロバート・パーカーが絶賛し、カルト的な人気を誇るが、日本は米国を抜いて世界最大の輸出市場になった。



- Gevrey Chambertin
- Gevrey Chambertin 1er Cru
- Gevrey Chambertin Lavaux St Jacques
- Griotte Chambertin



# 埋もれた造り手を世に出す 最高の舌を持つ造り手のネゴシアン

## La Gibryotte ラ・ジブリヨット



### ワインを買いつけてエルバージュ

ドメヌ・クロード・デュガのネゴシアン部門として話題のラ・ジブリヨット。長女のレティシアと長男のベルトランが2002年に立ち上げた。近年、ブルゴーニュのドメヌがネゴシアンを始めるケースは多いが、その品質はまちまち。最高峰のデュガとあれば、内容は保証されている。

クロードが父モーリスと一心同体で働いてきたのと同じく、次女ジャンヌを含む3人の子供たちも、クロードと共に、小さなころから働いてきた。「畑仕事が第一」という大方針は骨身にしみている。買い付けるのはブドウではなくワインだ。ベルトランが狙いを語る。

「ジュブレ・シャンベルタンには、いいワインを造っていて埋もれている造り手が多い。同じ村だから、どんな畑仕事をしているかはわかる。彼らを世に送り出したいから、ネゴシアンを始めたんだ」

### 3人の子供たちの仕事ぶりを味わえる

クロードは子どもたちに任せているが、助言は与えている。最高の舌を持つ造り手たちが認めるワインは、ドメヌ物よりお手ごろな価格で、掘り出し物の宝庫だ。

ワインの熟成はラ・ジブリヨットのカーヴで行われる。デュガと同じ細心の注意を払って、エルバージュ(育成)されている。2007年にオスピス・ド・ボヌで落札したマジ・シャンベルタン・マドレーヌ・コリニョンとポマール・スザンヌ・ショードロンは大きな話題になった。

ドメヌではレティシアが畑、ベルトランが醸造というおまかな担当はあるが、子供たち全員がすべての仕事に携わっている。いずれはドメヌの将来を背負う次世代の仕事ぶりがいち早く味わえるのがジブリヨットだ。



Gevrey Chambertin  
Charmes Chambertin  
Grand Cru



# シャンベルタン・クロ・ドベーズの最大所有者 プロが試飲を中断してしまう恍惚の味わい

## Domaine Pierre Damoy



ドメーヌ・ピエール・ダモワ

### 上から下まで飲んでジュブレ・シャンベルタンを マスター

ジュブレ・シャンベルタンのグランクリュの畑を眺めていると、だれもが「シャンベルタン・クロ・ドベーズ ドメーヌ・ピエール・ダモワ」と記した看板に気づくだろう。ドメーヌは、シャンベルタンと双壁をなすこの畑の3分の1に当たる5.36haを所有する。2014年がパーカーポイント97点を獲得した際、「テイスティング・イベントでテイスターが試飲を中断せずにはいられなかった」と評された至高の畑だ。

シャペル・シャンベルタンは2.22ha、シャンベルタンは0.48ha。モノポールのジュブレ・シャンベルタン・クロ・タミゾは、ドメーヌの裏にある庭のような畑。骨格と血の香り、並外れた果実味を誇る。ダモワのワインを上から下まで飲むのがジュブレ・シャンベルタンを極める近道だ。

### 遅摘みときめ細かな醸造

一時的に評価を落としたが、1992年に当主ピエール・ダモワが継承してからは常勝将軍である。2002年にはすべての機器を入れ替えた。「道具は常に改良されるから、新しい方がいい」という理由からだ。遅摘みときめ細かな選別、ヴィンテージによっては全房発酵を導入し、時には36か月間に及ぶ熟成によって、高品質をものにしている。

卓越した造り手ほど、下位のキュヴェが優れている。ダモワのACブルゴーニュの赤と白は、フィサンとクシェのブドウを使い、下手な造り手のヴィラージュをしのぐ味わいだ。マルサネからはラ・プレティニエールとレ・ロンジュロワを造っている。プルミエクリュがないため、見過ごされがちなマル



サネのポテンシャルの高さを発見できる。実力派がひしめくジュブレ・シャンベルタン村にあって、ピエール・ダモワは隠れた宝石だ。



- Marsannay Les Longeroies
- Gevrey-Chambertin Clos Tamisot
- Chapelle-Chambertin
- Chambertin
- Chambertin Clos de Bèze



# マコネとジュラからシャルドネとサヴァニャン 毎日のように飲めるロールスロイス

## Maison Rijckaert

メゾン・リケール



### 土壌の専門家の当主フローラン・ルーヴ

コート・ド・ボージュの白ワインが値上がりする中で、マコネが注目を集めるきっかけを作ったのが、ジャン・リケールだ。ベルギーの同郷人ジャン・マリー・ギュファンと共に、メゾン・ヴェルジュを興し、古くからの生産者を凌駕する白ワインを量産した。独立して1998年に、ジャン・リケールを設立。多彩なアペラシオンから、ミネラル感あふれる白ワインを生産してきたが、2003年に引退。後継者がいなかったため、フローラン・ルーヴに売却した。

ドメーヌ兼メゾンのリケールは、ブルゴーニュ地方マコネのレーヌ村とジュラ地方レ・プランシュ・プレ・アルボワ村に醸造所を構える。ジュラに6 ha、ブルゴーニュに4 haの畑から、ピュアなシャルドネとサヴァニャンを生産する。ラベルの文字がグリーン色のものは自社畑のドメーヌ物で、オレンジ色は購入したブドウから造られる。ワイン・アドヴォケイトをはじめとする評論家から常に高い得点を得ている。

父が地質学者だったため、ルーヴの土壌の知識は豊かだ。買い付けるブドウも自ら収穫する。「ブルゴーニュとジュラの地質は共通性がある、シャルドネがうまくできる。コート・ドールの価格は高くなりすぎたが、マコネはまだ手が出る」と語る。



### フランスの2つ星、3つ星にオンリスト

天然酵母で発酵させ、ゆっくりと時間をかけて压榨し、純粋なアロマを大切にしている。酵素は添加しない。マロラクティック発酵も天然のバクテリアに任せ、「テロワールの記憶となる」オリの上で長期熟成させる。中古のバリックと大樽を主体にして熟成する。生産量は10万から12万本。

「自分たちが食事の時に飲みたいワイン」という方針から生まれるワインは、飲み疲れすることなく、料理を引き立てる。その一方で、長期熟成する力も秘めており、抜栓から数日後に頂点に達する。毎日飲めるロールスロイスのようなワインだ。フランスでは、2つ星、3つ星レストランのワインリストに欠かせない白ワインだ。パーカーの評価が高いため、アメリカでも品薄。リケールのワインが普通に買えるのは日本だけと言っていい。



- Maçon Villages
- Chablis Grand Cru Bougros V.V.
- Meursault 1er Cru Les Cras
- Cotes du Jura Les Sarres
- Arbois "Grand Elevage"



# 今後10年間で注目すべき造り手 ピノ・ノワールに求めるすべて備える

## Jean Marc Millot

ジャン・マルク・ミヨ



### ヴォーヌ・ロマネ中心に3つのグラン・クリュ

発掘され尽くしたブルゴーニュで、数少ない掘り出し物と言えるのがジャン・マルク・ミヨだ。1980年代からワインを造っていたが、自家元詰めを始めたのが1992年。ニュー・サン・ジョルジュにドメーヌを構えている。

ラインアップが素晴らしい。グラン・エシェゾーとエシェゾー、クロ・ド・ヴージュという3つのグラン・クリュを所有している。加えてヴォーヌ・ロマネのプルミエ・クリュ・レ・スショ、ヴィラー・ジュ、さらに、サヴィニ・レ・ポヌ、コート・ド・ニュイ・ヴィラー・ジュもある。コート・ドールの聖地ヴォーヌ・ロマネ村に強いのは、奥方がモンジャール・ミュニレ家の出だから。



### 香り高さ、果実味、しなやかな舌触り

ここがすごいのは畑もさることながら、そのワイン造り。抽出ではなく、1ヘクタール当たり30ヘクトリットル前後の低収量によって実現したエキスと純粋な果実味。薄めで、輝くばかりのルビー色。舌触りはなめらかで、ヴェルベットのようになどを流れ落ちる。ミネラル感あふれる味わいは、熟成につれて、たっぷりのうまみに変わる。

ブルゴーニュの赤ワインに求めるすべてがある。香り高さ、可愛らしい果実味、しなやかな舌触り。凝縮したスタイルのモダンな生産者ではなく、古典的な造り手に心奪われる愛好家に口コミで広がるドメーヌなのだ。

ワインは畑で造られるものというのが信条。栽培はリュット・レゾネ。化学薬品の使用は最低限に抑えている。カーヴでもなるべく人的な介入を避けて、自然な造りを心がけている。

ミヨはイギリスのインポーターには、早くから目をつけられていた。しかし、アメリカでの評判は今ひとつ。それがダークホースだった理由だ。それも既に変わった。ワイン・アドヴォケートのニール・マーティンがついに、2012年を評価したからだ。エシェゾーに90点をつけ「今後10年間で注目すべき」と評価した。急いだ方がいい。



- Vosne Romanée
- Savigny Les Beaune
- Vosne Romanée 1er Cru les Suchots
- Echezeaux



# レザムルーズ最大の所有者 家族に伝わる畑仕事と卓越の醸造

## Robert Groffier

ロベール・グロフィエ



### 熟練のブドウ栽培と卓越した醸造

ロベール・グロフィエのドメーヌは、モレ・サン・ドニ村の中心にある。グラン・クリュ街道沿いにひと際目立つクロ・ド・タール。その隣の大きな屋敷に、住居とカーヴが潜んでいる。

ロベールと息子のセルジュ、孫のニコラの3人がワイン造りにたずさわっている。ロベールは引退したと言われていたが、まだまだ現役だ。暇をみつければ、畑仕事に精を出している。生まれつきのヴィニュロン(ブドウ栽培家)なのだ。同じ血の流れる家族全員が、熟練したブドウ栽培と卓越した醸造手法から、ブルゴーニュのトップを行くワインをものにしている。

フラッグシップはグラン・クリュのボンヌ・マールとシャンベルタン・クロ・ド・ベーズ。それぞれ0.97ヘクタール、0.42ヘクタールと小さな畑だが、クリュの規範となるワインを造り出している。

### クリュごとのテロワールを表現

とりわけ、ドメーヌのすぐ南に広がるボンヌ・マールは濃厚な黒系果実の香りと凝縮度を備え、長期熟成に耐えられる逸品。ニコラは全房発酵を好むが、ヴィンテージによって、除梗する柔軟性も見せる。

また、ここはシャンボル・ミュジニー・レザムルーズの最大

の所有者でもある。「恋する乙女たち」という名のプルミエ・クリュの全畑の5分の1にあたる1.12ヘクタールを手にしている。シャンボル・ミュジニー村に入ると、グロフィエの持ち畑を示す大きな看板が迎えてくれる。こちらは官能的な芳香にあふれる女性的な味わい。テロワールを直接的に表現している。

グロフィエはモレ・サン・ドニのドメーヌであ

りながら、シャンボル・ミュジニーの畑を、レ・サンティエ、レ・オー・ドワも所有する。魅惑的なシャンボル・ミュジニーの水平試飲をするのも楽しい。

ここで見逃してならないのはブルゴーニュ・パストゥグラン。上から下まで、一切妥協のない造り手だ。



- Bourgogne Passe-tout-grains
- Chambolle Musigny 1er Cru Les Hauts Doix
- Chambolle Musigny 1er Cru Les Sentiers
- Chambolle Musigny 1er Cru Les Amoureux
- Bonnes Mares
- Chambertin Clos de Bèze



## 赤はフィネス 白はミネラル シャサーニュ・モンラッシェのトップクラス

# Bernard Moreau

ベルナル・モロー



### 英米のトップ評論家が賞賛

優れた造り手のひしめくシャサーニュ・モンラッシェにあって、ベルナル・モローは進境著しい注目株だ。

歴史をさかのぼると、19世紀のオーギュスト・モローにたどりつく。ベルナルが1960年代に相続し、基礎を築いた。息子の4代目アレクサンドルとブノワ兄弟が、2000年からドメーヌを運営している。アレクサンドルは栽培、ブノワは醸造を担当。評価はうなぎ昇りだ。

ワイン・アドヴォケートのブルゴーニュ担当ニール・マーティンは、2014年2月号でこう評した。「シャサーニュ・モンラッシェには、非常に多くのモロー家の分家があるが、ベルナル・モローは最高の1つ。今後の行方に期待して欲しい。このワインはトップクラスだ」と。

ブルゴーニュの権威クライヴ・コーツMWも「過去10年で品質が向上した。非常に良いワインだ」と。

13アペラシオンに広がる畑の面積は14ヘクタール。白ワインよりも赤ワインが多いのは、シャサーニュ・モンラッシェの伝統を引き継いでいる。シャサーニュ・モンラッシェには赤ワイン向きの粘土主体の土壌が多く、1970年代までは赤ワインの生産量の方が多かった。



### リュットレゾネと人為的介入を排した醸造

モローのワインは赤も白も優れているが、白ワインでトップに行くのは、1樽のみのバタール・モンラッシェを除けば、シャサーニュ・モンラッシェ・プルミエ・クリュのモルジョ。切れが良く、柑橘系、アプリコットの香りときれいなミネラル感に縁取られている。村名のシャサーニュ・モンラッシェはお買い得の見本だ。赤ワインも、ほかの生産者のシャサーニュ・モンラッシェの青さや野暮ったさとは無縁。穏やかな抽出で、上品に仕上げている。

剪定で収量を落とし、リュット・レゾネで栽培。厳しい選果の上、空気圧式搾機を使い、自然酵母だけで発酵される。ラッキングもバトナージュもできる限り行わない。ワインは濃厚さとフィネスを備えたアペラシオンの見本。この造り手の知名度は、実力に比べて低すぎる。



Chassagne Montrachet Rouge V.V.

Bourgogne Blanc

Chassagne Montrachet Blanc

Chassagne Montrachet Blanc 1er Cru  
Morgeot

Batard Montrachet







## ミネラル感ときれいな酸 ピュリニー・モンラッシュェを代表する造り手

# Philippe Chavy

フィリップ・シャヴィ

 France / Bourgogne

### 2000年代に入って目覚ましい品質向上

ピュリニー・モンラッシュェ村にあるシャヴィの名を持つ3つのドメーヌは、いずれも腕利きぞろいだ。フィリップ・シャヴィの当主フィリップは、アランとジャン・ルイのいとこに当たる。

父アルベールはバルクワインで有名ネゴシアンに売却していたが、1990年に引き継いだフィリップが、自家元詰めに移行した。ビオディナミに転換し、2000年代に入ってから品質向上は目覚ましい。

新樽比率を減らし、350リットルの容量が大きめのカスクや、500リットル、600リットルのデミ・ミュイも導入している。酸化を避け、フレッシュ感を重視しているからだ。樽の製造業者はフランソワ・フレール、タランソー、セガン・モローなどを混ぜ、風味の多様性を引き出している。純粋な果実味、ピュリニー・モンラッシュェの特色であるミネラル感ときれいな酸を表現している。



### 珠玉のフォラティエールとピュセル

空気圧式の圧搾機によって得たきれいな果汁を、デブルバージュ(静置)によって澄んだ状態にし、最初はステンレスタンクで発酵。数日後に樽に移す。発酵温度は18度とほかの生産者より低く、フレッシュな果実と澄んだアロマを引き出す。パトナージュは控えめで、無理に厚みを作りださず、ワイン自体の個性を尊重している。

ピュリニー・モンラッシュェのブルミエ・クリュは、レ・フォラティエールとレ・ピュセルがそれぞれ、1950年代、1920年代の古木を含む秀逸な区画。ヴィラーージュでは、ビアンヴニユ・バタール・モンラッシュェのすぐ下のリュ・ルソーが通の狙うワインで、サン・トーバンやブルゴーニュ・ブランの品質もおしなべて高い。

シャヴィのワインは若くから楽しめるが、美しく熟成する力もある。ピュリニー・モンラッシュェのあるべき姿を示している。アメリカ、イギリス市場での人気が高く、フランス国内では、ミシュランの2つ星、3つ星レストランのワインリストに欠かせない存在となっている。



Bourgogne Blanc

Meursault 1er Cru Charmes

Puligny Montrachet Rue Rousseau

Puligny Montrachet 1er Cru Folatieres

Puligny Montrachet 1er Cru Pucelles



## ムルソーの3大プルミエクリュを所有 テロワールの個性を最大限に引き出す

# Domaine Yves Boyer Martenot

ドメーヌ・イヴ・ボワイエ・マルトノ



### プルミエクリュを通してムルソー極める

ムルソーは通向けの村だ。グランクリュこそないが、プルミエクリュにはグランクリュに匹敵するポテンシャルを有する畑が数多い。それらを探索するのが、ブルゴーニュ愛好家ならではの楽しみ方だ。イヴ・ボワイエ・マルトノは、レ・ペリエール、ジュヌヴリエール、シャルムという、ムルソーの3大プルミエクリュを所有している。ムルソーを極めるのにこれだけ適した造り手はいない。

イヴ・ボワイエとマリー・セシル・マルトノが結婚して、ドメーヌが生まれた。当主は息子のヴァンサン・ボワイエ。リュット・レゾネで、グリーン・ハーヴェスト、手摘みを行う職人的な畑仕事を貫いているが、カーブは最新設備を導入している。空気圧式の圧搾機で穏やかに搾り、温度調節機能のついた発酵槽で発酵させる。熟成に使う新樽比率は3分の1程度。週に1度、バトナーージュをしながら熟成させる。



### 格別な味わいに熟成

ムルソーのプルミエクリュの頂点に立つのはペリエール。パーカーポイント91点を獲得した2015年は「粘板岩の香りが時間を経るにつれてゆっくりと表れる。限りないポテンシャルに満ち、格別な味わいへと熟成していく」と評された。ジュヌヴリエールはフローラルでクリーミー。シャルムは名前通り魅力的で芳醇な味わい。個々のテロワールの特色を、イヴ・ボワイエは明瞭に表現している。

ピュリニー・モンラッシュェのプルミエクリュ・ル・カイユレやムルソーのヴィラーージュも所有しているが、ムルソーの畑から造るブルゴーニュ・ブランとブルゴーニュ・アリゴテはぜひトライすべきワイン。アリゴテの見方が変わるだろう。ブルゴーニュの価格が高騰する中で、比較的リーズナブルな価格設定もうれしい。



- Meursault 1er Cru Charmes
- Meursault 1er Cru Les Perrieres
- Meursault 1er Cru Genévriers
- Meursault Cuvée Fernand Boyer
- Puligny Montrachet 1er Cru Le Cailleret



# 高品質でお買い得なモンテリ ヴォルネイ、ムルソーに負けない品格と骨格

## Paul Garaudet

ポール・ガローデ



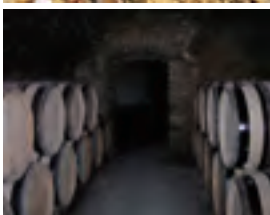
### 生産者組合の会長としてリード

モンテリは、コート・ド・ボーンで数少ないお買い得な産地だ。うまく探せば、隣接するヴォルネイやムルソーに劣らないワインが見つかる。白ワインの帝王コント・ラフォンやコシュ・デリも、この地で赤ワインを造っていて、隠れた名品として愛好家が探し求めている。

そんな産地を昔からリードするのがポール・ガローデだ。生産者組合の会長として、品質の向上に努めてきた。コント・ラフォンの小作人を務めたことがあり、栽培と醸造の技術は一級品だ。

プルミエ・クリュのクロ・ゴテ、ル・メ・バタイユ、レ・デュレスから、早飲みして楽しめる赤ワインを造る。除梗され、自然酵母で発酵し、12~18か月間、熟成されるワインは、香り高く、バランスがとれている。

クロ・ゴテはエレガントで、ル・メ・バタイユとレ・デュレスはボディがしっかりしている。モンテリのテロワールを知り尽くしたガローデならではの、ヴォルネイの優雅さやポマールの骨格に負けないしっかりした味わいで、価格もリーズナブル。フランスのレストランでよく使われているのもうなずける。



### コント・ラフォン譲りの白ワイン造り

白ワインはラフォンの薫陶を受けたのだから、品質の高さは言うまでもない。完熟したブドウを収穫し、12~18か月間、熟成される。2週間ごとにバトナージュを行う。ふくよかな果実味とピュアなミネラル感を備え、値上がりの続くブルゴーニュにあって、ヴァリュエーと言っていい。ピュリニー・モンラッシュ、ムルソー・ル・リモザンなどは驚くほどの品質の高さ。節約家のためのコント・ラフォンと言っていいだろう。

忘れてならないのが、クレマン・ド・ブルゴーニュ。息子も加わったネゴシアン、ドメヌ・ガローデ・エ・フィスの名で生産されている。ピノ・ノワール70%、シャルドネ30%。シャンパーニュをしのぐとは言えないものの、切れの良さと繊細さを備えたスパークリングワインだ。



Cremant de Bourgogne Rosé

Puligny Montrachet

Meursault Le Limozin

Monthelie Rouge 1er Cru Clos Gauthy

Monthelie Rouge 1er Cru Les Duresses



パーカーがスターにしたベビー・モンラッシェ  
産地名にとらわれない真の目利きのための白ワイン

Vincent Dureuil-Janthial

France / Bourgogne

ヴァンサン・デュルイユ・ジャンティアル

### パーカーが「途方もなく素晴らしい」と称賛

ロバート・パーカーは様々なワインをスターダムに押し上げた。ヴァンサン・デュルイユ・ジャンティアルが造るリュリー・ブランもその一つだ。「私がこれほど高い評価を下したのは間違いではない。途方もなく素晴らしい」と称賛し、“ベビー・モンラッシェ”として争奪戦になった。

リュリー・ブランはコート・シャロネーズに、プロや愛好家の目を向けるきっかけを作ったワインでもある。高騰が続くコート・ド・ボーヌに比べれば、その価格はまだお手頃な範囲内に収まっている。産地の名前にとらわれない本当の目利きを選ぶ造り手だ。

### オーダーメイドのシャサンの樽で熟成

ヴァンサン・デュルイユ・ジャンティアルはリュリーで最も古い家族経営ドメーヌの一つ。2001年に農薬の使用を止め、08年までに自社畑をオーガニックに切り替え、09年にエコセールから認証を得た。リュリー村は、トップドメーヌがオーダーメイドする高品質な樽で知られるシャサンの本拠地。ヴァンサン・デュルイユはキュヴェに合わせて焼き具合を調節している。白ワインは新樽25%の小樽で熟成し、月の満ち欠けに合わせてエルヴァージュする。赤ワインは100%除梗し、低温浸漬後に発酵、3分の1の新樽で熟成する。

冷涼な北向きの畑からとれるリュリー・ブラン・シェーヌ2015年について、イギリスのジャンシス・ロビンソンは「魅惑的でチョーキーなミネラル風味が鼻腔を抜ける。実に豊満で充実した味わい」と高く評価した。赤ワイン造りも名手であり、長期熟成型のワインをものにしていく。

ヴァンサン・デュルイユは妻のセリーヌと共に、ネゴシアン「セリーヌ・エ・ヴァンサン・デュルイユ」も営んでいる。近隣の知人や友人の畑から購入したブルゴーニュ・ブランも見逃せない。



Rully Blanc

Rully Blanc Les Maizières

Rully Blanc 1er Cru Le Meix Cadot

Rully Rouge



## タンクで発酵・熟成するピュアなシャブリ

# Domaine de Chantemerle Francis Boudin

France / Bourgogne

ドメーヌ・ド・シャントメルル フランシス・ブダン

シャブリには様々なスタイルがあるが、ドメーヌ・ド・シャントメルル フランシス・ブダンはステンレスタンクで発酵と熟成を行うクリーンな造りだ。果実の純粹さと、チョーキーなミネラル感を素直に引き出している。様々なシャブリを味わって、ここに戻ってくるとホッとする。そんなナチュラルな味わいだ。ブダン家はシャブリに11ヘクタールの畑を有し、その中にはフィロキセラ以前の接ぎ木していない台木から造られるワインもある。ロバート・パーカー率いるワイン・アドヴォケイトでも、村名のシャブリと、プルミエクリュのフルショームは安定して高得点を確保している。



Chablis

Chablis 1er cru Fourchaume

Chablis 1er Cru l'Homme Mort

France / Bourgogne



## 真にテロワールを表現するプイイ・フュイッセ

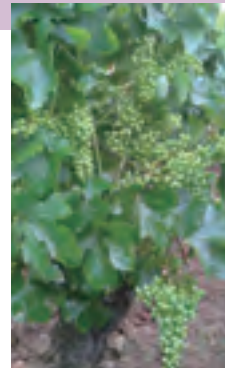
# Jean Jacques Litaud

France / Bourgogne

ジャン・ジャック・リトー

高騰するコート・ド・ボージュをしり目に人気上昇中のマコネ。プイイ・フュイッセはその先頭打者だ。ジャン・ジャック・リトーは16世紀からの伝統を持ち、最も恵まれたレ・クレイ、ラ・ロッシュなどの区画を所有する。熟成に新樽を使用し、伝統と現代のバランスもとっている。このフラッグシップは樹齢80年のプイイ・フュイッセ・ヴィエイユ・ヴィーニュだ。スール・ラ・ロッシュ

の区画からヘクタール当たり40ヘクトリットルの低い収量で造られる。「真にテロワールを表現するワイン」として、ワイン・アドヴォケイトでも90点以上をしばしば獲得する。



Pouilly Fuisse V.V.



## フルーティでミネラルなサン・ヴェラン

# Domaine Innocenti

France / Bourgogne

ドメーヌ・イノソンティ

マコネとボジョレーは近い。コート・ドールより温暖な気候が、安定した品質を産む。サン・ヴェランは、ポテンシャルが高く、ネゴシアンがいま狙っている。ドメーヌ・イノソンティの拠点はボジョレーのブルイイ。ドメーヌ・ジョベールの4代目当主ジョルジュ・ジョベールを、ジェローム・イノソンティが継承し、名前が変わった。ただ、ジョベールは引き続きオーナーのため、ワイン



はサン・ヴェラン・レゼルヴ・ジョベールと名前を残している。有機栽培し、遅摘みし、天然酵母で発酵する。フルーティで、ミネラル感のあるワインを手堅く生産している。



Saint-Véran  
Réserve Jobert



## ピュアな果実と緊張感の掘り出し物 自然な農法の伝統派ボージョレ

# Domaine de La Madone



ドメーヌ・ド・ラ・マドンヌ

### しっかりとマセラシオン

現代派と自然派の二極化が進むボージョレで、ドメーヌ・ド・ラ・マドンヌは伝統的な手法を貫く造り手だ。当主のブルーノ・ベレールは頑固な職人だ。

ボージョレ・ヌーヴォーを飲めばすぐにわかる。フルーティなだけではなく、しっかりした骨格を備えていて、なおかつ、ジューシーで、フレッシュな味わいだ。

ボージョレにはまだ珍しい選果台を設置している。しっかりと選別されたブドウはすべて除梗される。早飲みするためのマセラシオン・カルボニックは行わない。一般的な赤ワインと同じく、時間をかけてマセラシオン(醸し)する。

その期間は10~14日間と、通常の2倍近い。エキスと果実がしっかりと抽出され、タンニンはなめらか。凝縮した果実と熟成に耐える構造を備えるワインに仕上がる。瓶詰めは月の満ち欠けに従って行う。

畑はクリュ・ボージョレでこそないが、実力は多くのクリュをしのぐと言われるル・ペレオン村にある。標高400メートルの急斜面にあって冷涼なため、ブドウのハンゲタイムが長い。収穫は平均的な生産者より、1~2週間遅い。ブドウは複雑な香味をたくわえる。

### 120年以上の古木生かして凝縮したワイン

マドンヌの最大の財産は、一族が数百年にわたって所有する古木。普通は若い樹から造られるヌーヴォーですら、平均樹齢35年のブドウを使用する。120年以上の古木の区画もある。区画ごとに成熟を見極めながら収穫する。

また、実を多くつけるガメイでは、収量を落とすのが重要だが、ここはいち早くグリーン・ハーヴェストを導入した。ボージョレで、グリーン・ハーヴェストを行う生産者はまだまだ少数派だ。

ベーシックなトラディション2013について、ワイン・アドヴォケートのニール・マーティンは「ピュアな果実と素晴らしい緊張感がある。エクセレント。まぎれもない掘り出し物」と評した。ワイン・アドヴォケートだけでなく、ワイン・スペクテーターなどアメリカの多くの雑誌から高得点を獲得し続けている。



Beaujolais Villages Blanc

Beaujolais Villages Le Perreon

Beaujolais Villages Cuvée Futs de Chêne



# 全房発酵し大樽で熟成する伝統派 パーカーが熱愛するシャトーヌフ・デュ・パプ

## Domaine du Pégau

ドメーヌ・デュ・ペゴ



France / Rhône

ロバート・パーカーが選ぶ世界の偉大なワイナリー156のひとつ  
The World's Greatest Wine Estates Robert M. Parker



### 古木に恵まれた畑

ロバート・パーカーは、埋もれていたシャトーヌフ・デュ・パプを世界に広めた原動力だ。北部ローヌに比べて、あかぬけないイメージのあった南部ローヌに光を当てた。

昔ながらの大樽を使って醸造する古典派生産者を愛する彼が、著書「世界の極上ワイン」で、ドメーヌ・デュ・ペゴに最大限の賛辞を贈っている。

「長年、この生産者の熱烈なファンだった。財産をつぎこんで、1979年以来すべてのヴィンテージを購入してきた」

フェロー一族はこの地で、17世紀からの歴史を誇るヴィニュロン(ブドウ栽培家)の家系だ。1987年にポール・フェローと娘のローランスが、親族から独立してドメーヌ・デュ・ペゴを設立した。ペゴはプロヴァンス地方の方言で、陶器のピッチャーをさす。現在はローランスがドメーヌ運営の中心だが、ポールも助言を与えている。

ドメーヌの畑は古木に恵まれている。95%はグルナッシュだ。大きな石が覆う樹齢75年のエスコンデュード、シャトーヌフ・デュ・パプに使える13品種が植えられている樹齢100年以上のクラウ、樹齢70年以上のカバンヌ・ド・サンジャンなどがある。



### 柔らかい舌触りとチャーミングな香り

伝統的なスタイルを守り続ける。ブドウの除梗はしない。全房発酵で、自然酵母を使って発酵させ、大樽(フドル)で熟成する。ポールは、シャトーヌフ・デュ・パプのアンリ・ジャイエと呼ばれる伝説の生産者アンリ・ボノーの高校の同級生だ。パーカーは「ペゴのキュヴェ・レゼルヴェとキュヴェ・ローランスが、ボノーのキュヴェ・デ・セレスタンに似ているのは偶然ではない」と記している。

ペゴのキュヴェ・レゼルヴェはグルナッシュ80%、シラー6%、ムールヴェドル4%、そのほか法定品種10%。ブルゴーニュを思わせるチャーミングな香り、テクスチャーは柔らかく、丸い。上級キュヴェのローランスは熟成が2年間長い。さらに柔らかくて、飲みやすい。ペゴの素朴で、熟成力のあるワインのファンにならないローヌ愛好家はいない。



Châteauneuf du Pape Cuvée da Capo

Châteauneuf du Pape Blanc Cuvée Réserve

Châteauneuf du Pape Rouge Cuvée Laurence



## フェロー一族の情熱と哲学をカジュアルに体験 早くから楽しめるドメヌ・デュ・ペゴの入門編

# Château Pégau

シャトー・ペゴ



France / Rhône

### 2012年に畑を購入

2011年11月、ポール・フェローと娘のローランスの下に通の電子メールが届いた。シャトー・ヌフ・デュ・パプからわずか6キロの畑が売りに出ているという。親娘はこの土地を一目で気に入り、翌年1月に購入。シャトー・ペゴと名付けて、ドメヌ・デュ・ペゴと同じ情熱を注いでいる。

3世代にわたり、地元の家が所有してきた60ヘクタールの土地を耕し、グリーン・ハーベストを行い、2012年に初めてのヴァンテージを世に出した。25ヘクタールのコート・デュ・ローヌの畑は、シャトー・ヌフ・デュ・パプと同じく石が多く、粘土が深い。プラン・ペゴの11ヘクタールの畑は石灰岩と粘土混じりの土壌。

コート・デュ・ローヌ・プランは、クレレット40%、ブルブラン30%、グルナッシュ・プラン20%、ユニ・プラン10%。収穫時にバケツで選別して、14度で12日間にわたり発酵される。

コート・デュ・ローヌ・ルージュは、グルナッシュ60%、シラー25%、ムールヴェドル10%、サンソー5%からなる。手摘みされ、自然酵母により全房発酵で、温度管理はせずに発酵される。熟成は大樽(フドール)で。プラン・ペゴ・ルージュは、グルナッシュ30%、シラー30%、メルロ20%、残りはカリニャン、ムールヴェードル、サンソー、アlicant、カベルネなどの古木をブレンドする。醸造手法はコート・デュ・ローヌと同じだ。

### 栽培も醸造の手法も同じ

シャトー・ペゴをセカンドワインと見る向きがあるが、それは間違いだ。栽培も醸造の手法も、ドメヌ・デュ・ペゴとシャトー・ペゴに大きな違いはない。両者で異なるのは畑だけ。ドメヌ・デュ・ペゴは熟成で進化を發揮するものも多いが、シャトー・ペゴは発売後すぐに楽しめる。その点では、フェロー一族の高品質をカジュアルに楽しめる入門ワインと言えるだろう。ラベルもモダンで、見ていて楽しい。



Vin de France Rosé < Pink Pégau >

Côte du Rhône Blanc Cuvée Lône

Plan Pégau

Côte du Rhône Rouge Cuvée Maclura

Côte du Rhône Villages Rouge  
Cuvée Setier





# 価格はリーズナブル 別格の高品質ワインを長年生産

## Roger Sabon

ロジェ・サボン



France / Rhône

ロバート・パーカーが選ぶ世界の偉大なワイナリー156のひとつ  
The World's Greatest Wine Estates Robert M. Parker

### 16世紀にさかのぼる歴史

ロジェ・サボンはシャトーヌフ・デュ・パプの歴史と深く関わってきた一族だ。現在はジャン・ジャック、ドゥニ、ジルベールの家族がオーナーだが、曾祖父のステファンは、1930年代にル・ロワ男爵と試飲しながら、アペラシオンの規定を議論した。ドメーン設立は1952年だが、ブドウ栽培の歴史は16世紀にさかのぼるという家系だ。

ワイン造りは伝統的だが、現代的な要素も少しずつ取り入れている。1996年から黒ブドウはほとんど除梗する。発酵や熟成に使う容器はキュヴェによって異なるが、決してろ過しない点については譲らない。ろ過が香りやボディをもたらし要素を奪ってしまうという信念を持っているからだ。

シャトーヌフ・デュ・パプは4つのキュヴェがある。スタンダードのレ・オリヴェ、その上のレゼルヴとプレスティージュ、それにトップキュヴェのル・スクレ・デ・サボン。

### 高樹齢の区画から生産するプレスティージュ

樹齢80年を超すプレスティージュは除梗し、自然酵母によって発酵させる。ポンプオーヴァーとピジャージュの両方を駆使するが、ブドウの粒をつぶさないよう注意を払っている。65%はフードルで、35%は古樽主体のバリックで、15か月以上にわたって熟成される。

「サボン家の秘密」という名のトップキュヴェは、優良年に3000本のみ生産。樹齢100年の区画から、法定13品種を使って造られる。熟成の樽使いは、プレスティージュと基本的に変わらないが、バリックの新樽比率がわずかに高い。



凝縮力とエレガンスを備えた圧倒的なワインだ。

お買い得なりラック、ヴァン・ド・フランスも見逃してはいけない。秀逸な生産者は低価格のワインほどお買い得という法則はどこでも生きている。

パーカーは「世界の極上ワイン」で書いている。

「別格の高品質ワインを、長年にわたり生産している。近年のヴィンテージは新たな水準に上がった。しかも、大勢に見つかっていないから、価格は驚くほどリーズナブルだ」



Châteauneuf du Pape Rouge Les Olivets

Châteauneuf du Pape Rouge Prestige

Châteauneuf du Pape Rouge Le Secret des Sabon





## 国際的なスタイルでアペラシオンを表現 シャトーヌフ・デュ・パプをリードする造り手

# Domaine de Beurenard



ドメーヌ・ド・ボールナル

### 1980年代から別格に

ドメーヌ・ド・ボールナルもまた歴史が長い。1695年に、「ボワ・ルナル」だった名前が現在のボールナルになった。ロバート・パーカーは「シャトーヌフ・デュ・パプをリードするエステートの一つ」と、著書の「ローヌワイン」で評している。

ポール・クーロンが率いてきたが、現在は息子のフレデリックとダニエル兄弟が中心になって運営している。シャトーヌフ・デュ・パプに32ヘクタール、コート・デュ・ローヌ・ヴィラージュ・ラストーに25ヘクタールを所有する。1980年代後半にセラーが完全に近代化され、ワインの品質は優良から別格に向上した。



中量級の、しなやかなテクスチャーのワインがこの特色で、ときにはマセラシオン・カルボニックも一部で導入している。ブドウは除梗されず、収穫の一部は破碎されるが、大半はそのままタンクに送り込まれる。

ダニエルが主導権をとるようになってから、醸造とマセラシオンの期間を長くし、濃密さと豊かさを引き出す方向に向かった。

### ピュアでフレッシュ 洗練されてエレガントに

キュヴェ・クラシックと呼ばれる通常のシャトーヌフ・デュ・パプは、フレッシュさと果実味をたっぷりと備える。圧巻は1990年から始めたラグジュアリー・キュヴェのボワルナルだ。樹齢65～90年の畑から、グルナッシュにムールヴェドルなどをフィールド・ブレンドして造られる。20%新樽のキャスクで、12～15か月間熟成される。現代派に属する造り手だが、古典派を好むパーカーもボールナルがお気に入りだ。

「国際的なスタイルすぎるとの批判もあるが、シャトーヌフ・デュ・パプの偉大なワインの一つだ。新世界的な醸造と育成にもかかわらず、アペラシオンの個性を保っている」

スタイルの多様性も、シャトーヌフ・デュ・パプの面白さの一つ。ワイン・アドヴォケイトは「繊細なタンニン、ピュアさ、フレッシュ感に重点を置き、過去のヴァンテージより洗練され、エレガントになったようだ」としている。



Châteauneuf du Pape Blanc

Châteauneuf du Pape

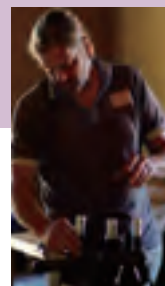
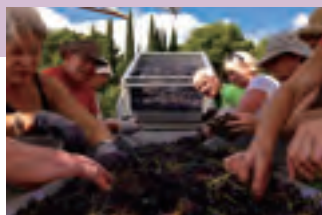
Châteauneuf du Pape Cuvée de Boisrenard

ケースで買うべきの信じられないお買い得

# Clos de Trias

クロ・ド・トゥリア

France / Rhône



ローヌから数々のスターを生み出してきたロバート・パーカー。北部ローヌは開拓し尽くしたが、南部にはまだスターが眠っていた。それがヴァントゥー山のふもとに2007年に設立されたクロ・ド・トゥリアだ。オーナーのイーヴン・バッケはカリフォルニアで修業し、ヴァントゥーに19ヘクタールの畑を購入した。醸造中は、酵母、酵素、酸化防止剤を加えず、温度管理もしない。きわめてナチュラルな手法で造られるワインは、ブドウそのものの味がするピュアで、凝縮力のあるスタイルに仕上がっている。

こうした自然派の手法で造られるワインは、醸造上の欠陥を抱えたものも少なくないが、ここは別物。フレッシュでクリーン。バッケは「伝統的な醸造法にこだわっている。ブドウを食べて熟度を判断し、手摘みの収穫は早朝の早い時間に行い、厳しく選別する」と語る。



熟成はステンレスタンクとドゥミ・ミュイを併用して行う。

パーカーのワイン・アドヴォケートでは、グルナッシュとシラーのブレンドで造るヴァントゥー2009に92点を与え、「信じられないほどのお買い得。素晴らしい果実、ミッドパレットの深み、熟したタンニンがある。ケースで買って、5-8年以内に飲むべきだ」と評価している。

力強さと繊細さが両立している、ローヌには少なくなってきたお宝ワイン。見逃してはいけない。



Ventoux Rouge

彗星のごとく登場したスーパー・ルーション

# Domaine de l'edre

ドメヌ・ド・レードル

France / Languedoc-Roussillon



ライジングスターが次々と現れる南仏のラングドック・ルーション。中でも、コート・デュ・ルーションは、世界の評論家やワイン商が新たな才能の発掘に躍起な産地だ。ドメヌ・ド・レードルは、ベルピニャンの北東30kmに位置するヴァングロ村に本拠を置く「スーパー・ルーション」。デビューした2003年の『レードル』がいきなり、パーカーポイント90点で「傑出している」との評価を得て、彗星のように登場した。

運搬業界で働いていたジャック・カスターニと、銀行業界にいたパスカル・デュニドゥが、バランスのよいエレガントなワインを造ろうと、手を組んだ。ガレージを改装したカーヴは2人の情熱の賜物だ。粘土石灰と頁岩質の泥灰岩土壌、豊かな日照、乾燥した季節風に恵まれている。入念な栽培、徹底的な収量制限、区画ごとの手摘みでの収穫、2度にわたる選果作業、冷蔵トラックでの搬送など、ローヌのトップ生産者に負けない時間とお金を注ぎこんでいる。

10年以上にわたり、ほとんどのワインのパーカーポイントが90点を下回ることはない。2013年の『カレマン・ルー

ジュ』は91点、『レードル』は95点をたたき出した。『レードル』は「ワイン・オブ・ザ・ヴィンテージ」とまで言われた。洗練されて、純粋さが増している。いずれも、シラーをベースに、グルナッシュ、カリニャン、ムールヴェードルをブレンドしている。『カレマン・ブラン』はグルナッシュ・ブランを主体に、ルーサンヌ、グルナッシュ・グリーをブレンド。価格を考えれば、スーパーお買い得と言っている。

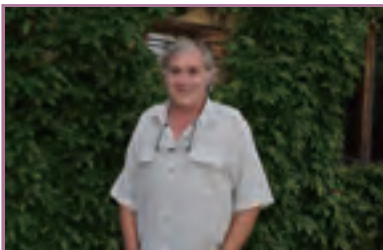


Côtes du Roussillon < Carrement Blanc >

Côtes du Roussillon Villages < Carrément Rouge >

Côtes du Roussillon Villages < l'Edre >

Côtes du Roussillon < l'Edre Blanc >



コタが造るものより偉大なサンセールはない

## Pascal Cotat

パスカル・コタ



ソーヴィニヨン・ブラン発祥の地ロワール。その中心となるサンセールに、最高のソーヴィニヨン・ブランの造り手がいる。パスカル・コタとフランソワ・コタ。世界中のソーヴィニヨン・ブラン生産者の目標となっている。

パスカルとフランソワは従兄同士。2人の父は共同でメヌを運営していた。その造りをそのまま引き継いだから、味わいに大きな差はない。ラベルも似ている。パスカルは今も父フランシスのサポートを受けている。サンセールにはモダンな生産者が増えているが、パスカルの造りは昔からの伝統を守っている。

ブドウは完熟を待って遅摘みされる。もちろん手摘み。2010年のモン・ダネの畑は10月中旬に収穫した。古典的なバスケット・プレスで圧搾し、古い樽で発酵し熟成。月の満ち欠けに合わせて、瓶詰めを行う。ビオディナミが話題になるはるか前から、有機栽培や古典的な醸造を続けてきた。出来上がるワインは、ミネラル感とフレッシュ感にあふれな

がら、ふくよかな果実味と、メロンやミントの香りがある。サンセールが早飲みの白ワインという固定概念を覆される。

ピノ・ノワールから造るロゼは並みはずれた味わい。ラ・グラン・コートもレ・モン・ダネもアペラシオンの最高水準に行く。

ロバート・パーカーはかつて、ワイン・アドヴォケイトで「コタが造るものより偉大なサンセールはない」と語った。飲めばその言葉の意味がわかるだろう。



Vin de Table Rosé Chavignol

Sancerre Blanc Les Monts Damnés

Sancerre La Grande Côte



コタを飲まないでシャヴィニヨルを極められない

## François Cotat

フランソワ・コタ



フランソワ・コタは、サンセールの隣村シャヴィニヨルにドメヌを構える。基本的造りはパスカルと変わらない。

農業や化学薬品を使わない有機栽培。認証は得ていないが、ビオロジックを実践している。平均樹齢は45年と高い。収穫は遅いため、アルコール度は上がる。2011のラ・グラン・コートやレ・モン・ダネは14.5%に達した。それでも、不自然なアルコール感はなく、バランスは良い。

レ・モン・ダネは、チーズのクロタンで有名なシャヴィニヨル村にある急傾斜の畑だ。機械は入らないため、ウインチを使って作業するしかない。表土が薄いため、果実味とミネラルが凝縮した小粒のブドウが収穫できる。熟成は酒石のびっしりついた古樽で行われ、微妙な酸化によって、独特の風味をまとう。

単一畑のワインを始めたのはコタ家が初めて。カイヨット、レ・クル・ド・ボー・ジュ、レ・モン・ダネなどのワインは、テロワールの違いを明確に表現している。シャルドネと間違えそうなエキゾチックな香りやハーブの清涼感が入り混じり、アルコールに負けない酸がワインを支えている。10年は軽く熟成で

きるワインだ。

フランソワとパスカルのワインのどちらが勝るか。これは難しい問題だ。好みの違いとしか言いようがない。

フランスの有名な評価本「クラスマン」はかつて「生産量が少ないが、水準は驚くほど高い。コタを飲まないでシャヴィニヨルを極められない」と評した。



Sancerre Blanc Les Culs de Beaujeu

Sancerre Blanc Les Monts Damnés

Sancerre La Grande Côte



# パーカーが絶賛、フランスの辛口白ワインで最も素晴らしいお買い得

## Domaine du Mage

ドメーヌ・デュ・マーージュ



### 実際の価格の2~3倍の値をつけてもおかしくない

世界市場を動かすロバート・パーカーは著書でこう語っている。「ワイン評論家をやっていて最も楽しい仕事の一つは、実際の価格の2~3倍の値をつけてもおかしくないような、とびきり上等な隠れたヴァリューワインを発掘することである」。

そのパーカーが絶賛し、デイリーワインとして楽しんでいるのがドメーヌ・デュ・マーージュだ。スペインと国境を接するフランス南西部のガスコーニュ地方は、アルマニャックの産地として有名だが、グラッサ家はアルマニャックの主要品種となるユニ・ブラン100%の辛口白ワインを1980年代に生産して成功した。プティ・マンサン、グロ・マンサンを使った甘口も人気が出て、ガスコーニュのイメージを変えた。

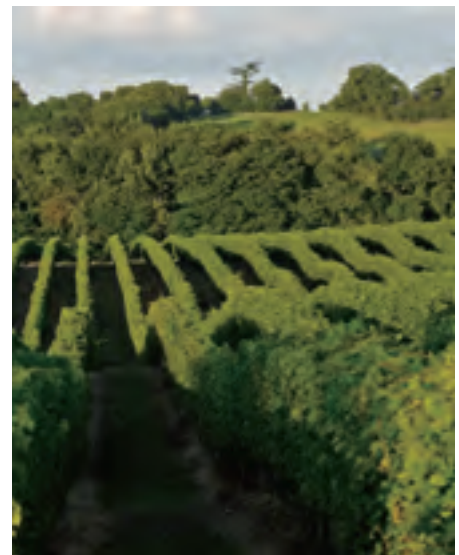
### トロピカルフルーツの香りとさわやかな酸

パリでカジュアルなワインとして人気を集め、アメリカでもパーカー効果があって、一気に世界的なブランドとなった。ユニ・ブランとコロンバル主体のドメーヌ・デュ・マーージュ・ブラン、ソーヴィニヨン・ブラン、シャルドネは、トロピカルフルーツの香りとさわやかな酸を備え、だれが飲んでもおいしいと思える味わいに仕上がっている。

パーカーは「この国の辛口白ワインの中で最も素晴らしいお買い得の一つ」「冷蔵庫に保管して6~9か月の間に楽しもう」「魚や貝料理と素晴らしい相性」など、熱意のあふれるレビューを、過去のワイン・アドヴォケートで書き連ねている。



巨大な生産量を誇るが、畑ではビオ農法と伝統的な農法のバランスをとりながら、栽培を進めている。醸造では炭酸ガスを使って酸化を防ぎながら、クリーンな果実を引き出している。一度は体験したいヴァリューワインだ。



- Domaine du Mage Blanc
- Domaine du Mage Sauvignon Blanc
- Domaine du Mage Chardonnay
- Domaine du Mage Reserve
- Domaine du Mage Merlot Syrah



## フレッシュでエレガントなロゼ パイヤールがプロヴァンスで挑戦

# Domaine des Sarrins

ドメーヌ・デ・サラン



フランス人のプロヴァンスに対するあこがれは強い。冷涼なシャンパーニュで育ったブルーノ・パイヤールも例外ではない。バカンス用の別荘を探しに出かけて、素晴らしいブドウ畑を見つけて一目ぼれ。1995年に購入した。

高級リゾートのサントロペから内陸に入ったサン・アントナン・デュ・ヴァール村から、チャーミングなコート・ド・プロヴァンスのロゼと赤、そして、ロール(ヴェルメンティーノ)から造る白を生産している。現在の生産量は6万本。ロゼ70%、赤10%、白20%の割合となっている。

22ヘクタールの畑は平地から標高250メートルの斜面にまで広がる。チョークと粘土質土壌で、秋は周囲の森からプロヴァンス名物のトリュフも採れる。1995年に1万8000本のロゼと6000本の赤からスタート。1996年には、斜面を利用してグラヴィティ・フローを実現したワイナリーが完成。ブドウは酸化を招くポンプを使うことなく、温度管理装置のついたステンレスの発酵槽に送り込まれる。ロゼの命であるフレッシュ感を保つためには欠かせない仕組みだ。

### 熟成力のある赤と香り高い白も

ロゼは青みを帯びたバラ色、花の香りがあり、なめらかな舌触り。生き生きとしていて、フルーティ。サラダから、魚料理、軽い肉料理まで、守備範囲は広い。アルコール度や残糖でヴォリューム感を出すのではなく、フレッシュ感とフィネスを狙った辛口スタイル。ブラン・ド・ブランのシャンパーニュを愛するパイヤールらしいエレガントな味わいだ。サンソー50%、グルナッシュ35%、シラー10%、ムールヴェドル5%。過熟を避けて摘み、低めの温度で発酵している。



赤はグルナッシュ、シラー、カベルネ・ソーヴィニオンを手摘みし、木樽で17~24か月間、熟成される。ガリーグや燻製の香り。トリュフを使った肉料理とは最高の相性を見せる。

白はオレンジの花やヘーゼルナッツの香りがするアロマティックなワイン。素晴らしい果実味にパイヤールが惚れ込んで、少量生産する通向けのワインだ。



Château des Sarrins Blanc Secret

Château des Sarrins Rosé

Château des Sarrins Rouge



## ローヌにひけをとらないシリアスなワイン

# Château de Mattes Sabran

シャトー・ド・マツ・サブラン



コルビエールに拠点を置くマツ・サブランは、ラングドック・ルーションでもシリアスなワイン造りで有名。チョーキーで、シャトー・ヌフ・デュ・パプのような石が転がる丘陵の畑から、ローヌにひけをとらないワインを造る。キュヴェ・サブランは、シラー、グルナッシュ、ムールヴェードルという典型的なローヌ・ブレンド。肉厚な果実とスパイス、地中海のガリーグの香り。上級キュヴェのクロ・ルドンはシラー100%。リッチなフルボディ。下手なコート・デュ・ローヌをはるかにしのぐ充実感とエレガンス。いずれもオーナーのプライドが伝わってくる。



Château de Mattes Sabran Viognier

Château de Mattes Sabran

Château de Mattes Sabran Clos Redon

France / Languedoc-Russillon



## まろやかなシャルドネとしなやかなメルロ

# Domaine Saint Hilaire

ドメーヌ・サン・ティレール



ラングドック・ルーションはフランスに残された最後のフロンティア。地中海に面した温暖な気候で、日照がたっぷりであり、ワイン造りに適



している。地価が高くないため、ワインの価格も比較的、抑えられている。ドメーヌ・サン・ティレールの畑はエロー県に本拠を置き、ローマ時代からのブドウ栽培の歴史を持ち、1817年にイレール・レイノー男爵が購入した。ロバート・パーカー率いるワイン・アドヴォケイトでも、何度も高得点を得た。まろやかで美しい酸のあるシャルドネと、しなやかで丸い果実のあるメルロは、食卓で幅広く活躍するのは間違いなし。



Domaine Saint Hilaire Merlot

Domaine Saint Hilaire Chardonnay



# 最良のブドウから、最高の技術で 偉大なシャンパーニュ造りの情熱

## Bruno Paillard

ブルーノ・パイヤール



France / Champagne

### 細部にこだわったシャルドネ・ハウス

戦後に創設された数少ないメゾンだ。ブルーノは買い付けたワインをブレンドするブローカーの仕事をしてきたが、自らの手でシャンパーニュを造りたいという情熱から、最高のシャンパーニュ造りに乗り出した。

ランス郊外に1981年に開いたメゾンは、最新の技術とノウハウを注ぎこんでいる。区画別に対応できるステンレスの発酵タンク、紫外線をカットした特殊な照明、動線に配慮した機能的な建物の設計。最も重要なブドウも、長年の人脈を生かして最良のものを確保している。

シャルドネが強い。コート・デ・ブラン地区のグランクリュの村のブドウをアッサンブラージュする。ブラン・ド・ブランは、瓶内二次発酵の際に添加する糖分と酵母を減らして、ガス圧を軽くするデミ・ムースという手法を用いている。泡立ちが優しくなり、きつさを和らげている。



### フラッグシップ N. P. U. のこだわり

フラッグシップのN.P.U.(ネック・プリュ・ウルトラ)は、細部にこだわった最高のプレスティージュ・キュヴェだ。優良なヴィンテージのグランクリュのプルミエール・キュヴェ(一番搾り)のみを使用。小樽で発酵させて、最低10年以上の熟成を経る。デゴルジュマン(澱抜き)の後に、2年間は休ませるという徹底ぶりだ。

「N.P.U.はベスト・オブ・ベストなんだ」

長身のブルーノが胸を張る通り、偉大なシャンパーニュが持つフィネス、エレガンスがあふれている。

そのこだわりはMV(マルチヴィンテージ)のブリュット・プルミエール・キュヴェにも発揮されている。世界のミシュラン星付きレストランで愛飲される最良のメゾンだ。



- Dosage Zéro
- Extra Brut Première Cuvée
- Extra Brut Rosé Première Cuvée
- Blanc de Blancs Extra Brut Grand Cru
- Extra Brut Assemblage
- Blanc de Blancs Extra Brut
- N.P.U. Extra Brut



# スパークリングワイン

シャンパーニュの人気上昇に合わせて、多彩なスパークリングワインが注目されてきた。シャンパーニュと同じ瓶内二次発酵方式のクレマン・ド・ブルゴーニュ、スペインのカバ、シャルマー方式のプロセッコなど、TPOに合わせて使い分ける時代がやってきた。



## Lebeault

ルポー



### クレマン・ド・ブルゴーニュの パイオニア

ドメヌ・ルポーは18世紀までさかのぼる歴史を持つ造り手。1907年生まれのモーリス・ルポーは、早い時期から瓶内二次発酵方式の利点に気づき、クレマン・ド・ブルゴーニュを手掛けた。ピノ・ノワール、シャルドネ、アリゴテを組み合わせたフレッシュでクリスプな味わいで、広く愛されている。



Crémant de Bourgogne Brut

## Riondo

リオンド



### 気楽に楽しめるプロセッコ

リオンドは白ワインで有名なソアヴェ地区に拠点を置く。ガンチアなどの名門ワイナリーから独立したコラッド・カバロが99年に設立した。タンク内で二次発酵を行うプロセッコは、ほんのり甘みがあり、青リンゴの香りがする。イタリアでは生ハムなど塩みのあるおつまみと合わせる。日本の食卓でも活躍するはず。



Prosecco Extra Dry Sesto Senso DOC

Prosecco Extra Dry Collezione DOC

## La Tête Noir

ラ・テート・ノワール



### 南フランスから生まれる 切れ味のいいスパークリング

ラ・テート・ノワールはポール・ドゥ・コストがプロヴァンスで造る。100年以上の歴史を持つ老舗。シャルドネ100%で、瓶内二次発酵方式によって造られるスパークリングワインは、南フランスの温暖な気候を感じ背せない切れ味がある。マルセイユなど地中海のリゾートで愛される華やかな味わいだ。



Cuvée Clément Blanc de Blancs

## L. Vitteaut-Alberti

ヴィトー・アルベルティ



### 長い瓶内熟成による複雑な風味

ヴィトー・アルベルティは3代にわたるクレマン・ド・ブルゴーニュのスペシャリスト。1951年に創業され、75年に認められたクレマン・ド・ブルゴーニュAOC創設に努力した。フレッシュさを生かすモダンな醸造施設を備えており、規定より長い瓶内熟成によって、複雑な風味の高品質を実現している。



Crémant de Bourgogne

## Carles Andreu

カルレス・アンドレウ



### パーカーも絶賛するカバ

カバはシャンパーニュの地位を脅かすスペインのスパークリングワインだ。使われる品種はチャレッコ、マカベオ、パレリャーダと、シャンパーニュとは異なるが、上手に造られたものは下手なシャンパーニュをしのぐ。カルレス・アンドレウはパーカーも絶賛の生産者。フレッシュで、ミネラル感がある。



Carles Andreu Brut



# サンジョヴェーゼの伝道者 ジョヴァンニ・マネッティの情熱

## Fontodi フォントディ



### サンジョヴェーゼを信じて育てる

品質向上の著しいトスカーナ州キアンティ地区で、不動の評価を得ているのがフォントディだ。

サンジョヴェーゼ100%で造られるフラッグシップのフラッチャネッロ・デッラ・ピエヴェは、ワイン・スペクテイター誌のトップ10に3度も選ばれた。ワイン・アドヴォケイトからは、2010年と2006年が97点を獲得している。

設立は1968年。歴史の古い生産者の多いトスカーナで、短期間でトップに躍り出たのは、当主ジョヴァンニ・マネッティのサンジョヴェーゼにかける情熱と愛情があればこそ。「サンジョヴェーゼはトスカーナでしか成功しない。サンジョヴェーゼを信じ、育てるのが我々の義務なんだ」と信念を語る。

### 早くから有機栽培 フレンチオークの導入

ボルドーやカリフォルニアを旅して学び、名エノログのフランコ・ベルナベイと共に、畑造りから始めた。1990年という早い時期にオーガニック栽培を始め、区画ごとに醸造し、熟成にフレンチ・バリックの新樽を導入した。ベルナベイは「ミスター・サンジョヴェーゼ」と呼ばれるスペシャリスト。多くの優れたワインを手掛けている。

テロワールにも恵まれていた。ワイナリーがあるのは、キ

アンティ・クラッシコのパンツァーノ・イン・キアンティ地区。丘陵地帯にコンカドーロ(黄金の盆地)と呼ばれる美しい畑が広がる。標高が高く、昼夜の気温差が大きいため、ブドウに酸が乗る。完熟を待って、手摘みする。完熟したブドウは、フレンチオークと溶けあう。

ピノ・ネロ(ピノ・ノワール)、シラーもいいが、マネッティの造るサンジョヴェーゼは常に素晴らしい。キアンティ・クラッシコですら、並みの生産者のトップキュヴェをしのぐ。サンジェベーゼ100%のヴィーニャ・デル・ソルボは単一畑の個性を表現する。

フラッチャネッロ・デッラ・ピエヴェは最良の区画を選んでいる。ラベルの十字架は人間と土地の関係を象徴している。サンジョヴェーゼの到達点を示す傑作だ。



Syrah Case Via I.G.T.

Pinot Nero Case Via

Chianti Classico D.O.C.G.

Chianti Classico Riserva Vigna del Sorbo D.O.C.G.

Flaccianello della Pieve I.G.T.

Extra Virgin Olive Oil BIO 500ml



# バローロの頂点に立つ伝統派 世界の愛好家が血眼で探し求める

## Aldo Conterno

アルド・コンテルノ

Italy / Piemonte

### 大樽で長期熟成するバローロ

「王のワイン、ワインの王」と呼ばれるバローロ。多くの優秀な生産者がひしめくが、アルド・コンテルノがその頂点にすることに異議を唱える評論家はいない。

18世紀からの歴史を誇る名門ジャコモ・コンテルノの5代目として生まれた。1969年、兄のジョヴァンニと衝突して独立し、ブッシアの畑を購入して、自らのワイナリーを開いた。スラヴォニアン・オークの大樽で醸造するスタイルを貫き、ネッビオーロの精髓を表現した長期熟成タイプのバローロを造る。たっぷりとした力強さと優雅さを備えた味わいは、バローロのみならず、イタリアワインの頂点に立つ生産者と言っても過言ではない。

ブッシア地区に、ロミラスコ、チカラ、コロネッロの区画を有し、クリュのワインとして仕込まれる。バローロは複数の区画をブレンドして造られる。頂点に位置するのは、良作年にだけ造られるリセルバ・グランブッシア。3つの単一畑の最良のブドウで仕込まれる。大樽で3年間熟成される。世界中のバローロ愛好家が血眼になって探し求めるワインだ。

### 息子たちがモダンなワインも

アルドが2012年に亡くなった後は、フランコ、ステファーン、ジャコモの3人の息子が後を継いだ。バローロのスタイルは不変だが、早くから楽しめるワインにも挑戦している。ステンレスタンクとバリックを併用するランゲ・ネッビオーロ・ファボットはその代表。ブッシア地区内の若樹から生産される。

100%新樽のバリックで12か月間の熟成を経るランゲ・シャルドネ・ブッシアドールは、イタリアのモダンな白ワインの先駆けとなった。フレイザ主体のランゲ・ロツソ、早飲みバルベーラ・ダルバも素晴らしい。

ピエモンテの伝統的なワイン造りは守りながら、時代に合わせて、バリックやステンレスタンクを使って、幅を広げてきたアルド・コンテルノ。イタリアの偉大なワインとは何かを知る時に、避けては通れない生産者だ。



Langhe Nebbiolo Il Favot D.O.C.

Barolo Colonnello D.O.C.G.

Barolo Cicala D.O.C.G.

Barolo Romirasco D.O.C.G.

Barolo Riserva Granbussia D.O.C.G.





## トスカーナで最高のワインの一つ パーカーが惚れたブルネッコ・ディ・モンタルチーノ

### Sassetti Livio - Pertimali



Italy / Tuscany

サセッティ・リヴィオ・ペルティマリ

ロバート・パーカーが選ぶ世界の偉大なワイナリー156のひとつ  
The World's Greatest Wine Estates Robert M. Parker

#### 少量生産が悩みの種

イタリア・トスカーナ州を代表するワインのブルネッコ・ディ・モンタルチーノ。ペルティマリは柔軟な発想を持った伝統主義者だ。だれが飲んでも魅了される鮮やかな果実味と複雑な味わいに、世界最高の評論家ロバート・パーカーも惚れこんだ。

「1982年以来、目もくらむようなワインを造るこの小さなエステートは、トスカーナで最高のワインを造っている。私が出た1本だけブルネッコ・ディ・モンタルチーノを味わうとすれば、それはペルティマリのものになるだろう。不幸なことに、生産量が極めて少なく、手に入れるのに頭を悩ませる」



ペルティマリの名前は1960年代に、リビオ・サセッティがモンタルチーノの街にほど近いモントソーリの丘に建



てた小さな小屋の名前からとっている。リヴィオはそこをカンティーナとして使えるように改築し、ワインやオリーブオイルの生産に乗り出した。

#### 偉大なワインはブドウ畑から

リヴィオは「偉大なワインはブドウ畑でできる」という信念の持ち主。2人の息子ロレンツォとルチアーノにも使命感を植え付け、現在は仕事を任せている。

ブルネッコ・ディ・モンタルチーノは、ステンレスタンクで発酵して8か月間、熟成した後、スラヴォニアン・オークの大樽で3年間、寝かされる。ワインは瓶詰めされてさらに16か月間、熟成される。黒系果実やアジアのスパイスのエキゾチックな香りがあり、タンニンはなめらかに溶け込み、味わいは濃厚でジューシー。

最良のブドウで仕込むリゼルヴァは常に、オペレーションのトップに行く。セカンドワイン的なロッソ・ディ・モンタルチーノは、早くから楽しめるお買い得。パーカーポイントは常に安定して高い。

フィリ・ディ・セタはサンジョヴェーゼ60%にカベルネ・ソーヴィニオン40%をブレンドしたI.G.T.。マレンマに進出して造るイストリチャイアはサンジョヴェーゼ主体で造られる。いずれも早くから楽しめる親しみやすいワインだ。



Istriciaia Maremma Toscana I.G.T.

Rosso di Montalcino D.O.C.

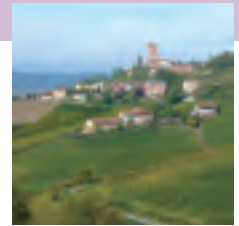
Brunello di Montalcino D.O.C.G.



## バルバレスコ発 ヨーロッパで最良の協同組合

# Produttori del Barbaresco

プロドゥットーリ・デル・バルバレスコ



バローロとバルバレスコは今でこそ、スター生産者がひしめくが、ほんの30年前は、輸出に苦しんでいた。困難な時期も支えてきたのが、栽培農家で作る協同組合だ。

プロドゥットーリ・デル・バルバレスコはイタリアの代表的なガイド、ヴィーニ・ディタリアで1つ星に輝いている。トレ・ビッキエーリを10回獲得しないと星はもらえない。星を獲得しているワイナリーは177しかない。イタリアワイン界のスーパースターと呼べる生産者なのだ。

「1958年創設のバルバレスコ生産者協同組合は、疑いの余地なくヨーロッパでも最良の生産者協同組合の一つだ。コストパフォーマンスに注意を払っている愛好家にとって安心できる存在だ」と、ヴィーニ・ディタリアは記している。

50人以上の組合員が約100ヘクタールの畑を栽培している。これはD.O.C.G.バルバレスコの全面積の2割弱にあたるが、生産量は1万5000本に限られる。品質に妥協はない。支配人アルド・バッカと長年のエノロゴ、ジャンニ・テスタのもとで、高品質のワイン造りに努力している。知名度の高い

単一畑のワインを9つ生産している。すっかり値段が上がったバルバレスコのテロワールを、懐を痛めずに極めるのに、これほど適した生産者はいない。

ワイン・アドヴォケートでは、ここの大半のワインが数倍の値段のほかの生産者と同じか、それ以上の高得点を獲得している。バルバレスコ2008について、「世界のどの産地と比べても、熟成能力のある最良のお買い得だ」と評している。



Nebbiolo Langhe D.O.C.G.

Barbaresco D.O.C.G.

Barbaresco Paje D.O.C.G.



## トレ・ビッキエーリに近い有機栽培のガヴィ

# Castello di Tassarolo

カステッロ・ディ・タッサローロ



ピエモンテ州は赤ワインばかりではない。魚や野菜料理の強い味方ガヴィを忘れてはいけない。

カステッロ・ディ・タッサローロはガヴィの優良生産者の一人。オーナーのスピノーラ家は貴族で、その歴史は10世紀までさかのぼる。14世紀から溪谷にそびえるカステッロ(城)を基盤にしている。

中世から政治・経済を司った名家だが、現在は、元映画監督の先代ラオロの後を継いだマッシミリアーナ夫妻が、ビオディナミ農法に転換。模範的な生産者として、尊敬と注目を広く集めている。2008年に有機認証を取得した。農作業は、ビオディナミのカレンダーに従って行われる。

17ヘクタールの畑はカステッロに隣接して、鉄分の豊富な粘土質土壌が広がっている。メインはもちろんコルテゼから造られるガヴィ。青リンゴなど柑橘系の香り、硬質なミネラル感、しっかりとした酸のクリーンな味わい。多くの評論家から、高い評価を受けている。イル・カステッロとアルボリーナは、樽発酵と熟成を導入したフルボディのワイン。

明確なテロワールの個性を示している。

亜硫酸無添加のワインも手掛けており、保守的な産地にあって、その意欲的な試みが注目を集めている。

ヴィーニ・ディタリアは、カステッロの将来に期待をかけている。「スピノーラ家のワインは頻繁に私たちの最終試飲に残っているので、トレ・ビッキエーリを獲得する日も遠くないと確信している」と。



Gavi Il Castello D.O.C.G.

Gavi Vigneto Alborina D.O.C.G.



## スペインのペトリュス 伝説のテンプラニーリョ・マスター

# Alejandro Fernández

アレハンドロ・フェルナンデス



ロバート・パーカーが選ぶ世界の偉大なワイナリー156のひとつ  
The World's Greatest Wine Estates Robert M. Parker

### リベラ・デル・ドウエロに世界の注目

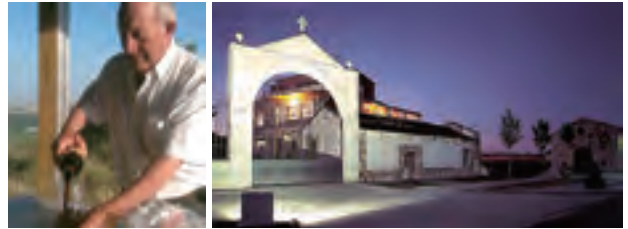
世界から注目されるスペインワイン。そのきっかけを作った1人がアレハンドロ・フェルナンデスであるのは間違いない。ロバート・パーカーは、ティント・ペスケラを「スペインのペトリュス」と呼んだ。ワイン・スペクテーターの表紙も飾った。

最大の功績は、ベガ・シシリア以外は無名だったリベラ・デル・ドウエロに世界の注目を集めたことだ。1932年生まれのアレハンドロは、14歳で学校をやめ、大工など様々な仕事をした。世界クラスのワインを作りたいという夢に突き動かされ、1972年、借金をしてワイナリーを設立。凝縮感と果実味にあふれ、ストラクチャーとタンニンを備えたフルボディのペスケラは、ボルドーにも負けないワインとして、たちまち評価された。

次女のオルガは「当時のワインは色もコクもなかった。父はスペインワインの認識を変えた。生まれつきの革命家。テンプラニーリョはスペインでしか成功しない誇り高き品種。その素晴らしさを信じ、愛していた」と語る。

### ペスケラの成功で帝国の版図を拡大

テンプラニーリョ・マスターのアレハンドロは、ペスケラの成功によって、帝国の版図を拡大した。リベラ・デル・ドウエロではペスケラとコンダード・デ・アサを手がけ、リベラ・デル・ドウエロ西方のトロに近いサモーラ地方でデエーサ・ラ・グランハを造る。スペイン中央のラマンチャでは、エル・ビンクロを生産する。



アレハンドロのワインは、どれもたっぷりした果実味とエキスとともに、しっかりした骨格とボディも備えている。テンプラニーリョの古木を思わせる威厳のある顔をしたアレハンドロは、正式な醸造の教育や訓練を全く受けずに、偉業を成し遂げた。2人の娘に仕事を譲りつつあるが、まだまだ現役だ。

パーカーは「世界の極上ワイン」の中で「強い困難を乗り越えて、アレハンドロはワイン造りの世界で伝説になった」と、挑戦に満ちた人生に賛辞を送っている。



El Vínculo Crianza

Dehesa La Granja

Condado de Haza

Alenza Gran Reserva

Tinto Pesquera Crianza

Tinto Pesquera Reserva





まろやかなタンニンと柔らかい口当たり  
スペイン・フミーリャから登場したベスト・ヴァリュー

# Bodegas Carchelo



ボデガス・カルチェロ

## モナストレルで実現する高品質

急速に進化するスペイン。ブドウ栽培のポテンシャルは、フランスに劣らない風土がある。安易に国際品種に走らずに、土着品種を追求する生産者が増えている。

ボデガス・カルチェロもその一つだ。ワイナリーのあるフミーリャは、スペイン南東部ムルシア州に位置する。年間降雨量が300ミリで、寒暖差の大きい大陸性気候。年間の日照量は3000時間と長い。濃厚でブレンド用に使われてきたが、カルチェロが設立された1980年代から、高品質のワインを造る生産者が出てきた。



## 世界で評価される国際スタイル

フランスのムールヴェドルに当たるモナストレルから、骨組みや濃厚さだけではない、洗練された赤ワインを造る。飲みやすく、さんさんと輝く太陽が感じられるワインは、だれが飲んでもおいしいと思わせる。シルキーなタンニンと、しっかりした果実がきれいに調和している。醸造担当のホアキン・ガルベスはチリ出身でカリフォルニアやアルゼンチンでもワイン造りを経験した。国際スタイルのワインに求められる洗練された味わいをよくわかっている。

生産量の90%は輸出に回され、フランスは重要な市場だ。フランスの同じ価格帯のワインと比べると、2倍以上の品質を有すると評価されている。それは世界市場でも同じこと。イギリスの評論家ニール・ベケットの「死ぬまでに飲むべき



1001ワイン」で紹介され、ワイン・スペクテーターでベスト・ヴァリューに取り上げられた。カルチェロは柔らかい果実と口当たりが心地よく、アルティコ・シラーはスパイシーな風味と細やかなタンニンが印象的だ。



Carchelo Tint

Artico Syrah

Vedre



# コスト・パフォーマンスとパーカー・ポイント 完璧主義者の贈るスペインの高品質ワイン

## Jorge Ordóñez

ホルヘ・オールドニェス



### 無名産地のワインを発掘

ホルヘ・オールドニェスは、アメリカのスペインワイン市場を確立した立役者だ。1987年に輸入会社ファイン・エステート・フロム・スペインを設立し、無名産地の高品質ワインを発掘。自らもワイナリー経営を行っている。

ルエダ、リアス・バイシャスなど、各地から輸入するワイナリーの数は40以上にのぼる。品種も、スペインを代表するガルナッチャ、テンプラニーヨ、モナストレル、メンシアのような黒ブドウから、ヴェルデホ、アルバリーニョまで幅広い。そのどれもが、産地のテロワールを表現しており、樹齢100年のワインも含まれる。それでありながら、価格は驚くほど安い。

毎年、数千本のワインを試飲するロバート・パーカーは年末に、その年のベストワインを発表する。2013年の「最大のお買い得」に選んだのは、ボデガス・ボタニの白ワイン、ボタニ 2012(18ドル)だった。



### 節約家の消費者に届けるバッカスからの贈り物

パーカーは「ホルヘ・オールドニェスはスペインの素晴らしいワインの標点を確立した人物と言っても過言ではない。節約家の消費者に届けられた、バッカスからの贈り物だ」と、賛辞を贈っている。

輸入するワインはすべて温度管理されたリーファーコンテナで輸送される。ワインにはサーモ・レコーダーをつけ、ワイナリーからアメリカや他国の販売業者にわたるまで、温度を追跡管理している。完璧主義なのだ。

アメリカで神話的な地位を築いたオールドニェスの名声は、2012年ノーベル賞の晩餐会で世界に知れ渡った。自ら手掛けるワイナリー・ホルヘ・オールドニェス・アンド・カンパニーのヴィクトリア No.2が、スペインワインで初めて供された。パーカーポイント95点のデザートワインだ。シェリーで有名なアンダルシア地方マラガで生まれ育ったオールドニェスは、地元産マスカットの甘口ワインも手掛ける。

ホルヘのワインを端から飲むのが、スペインワインの全体像を最も手軽に知る近道となるだろう。



Nisia D.O.Rueda
La Caña D.O. Rias Baixas
Botani Moscatel Old Vines D.O. Sierras de Malaga
Garnacha de Fuego
Zerran Tinto D.O. Montsant
Breca D.O. Calatayud
Triton Tinta de Toro D.O. Toro
Vatan Tinta de Toro D.O. Toro
Victoria #2 D.O. Malaga





## 土着品種と伝統的な醸造に回帰

# Bodegas Volver

ボデガス・ヴォルヴェール



ロバート・パーカーの絶賛で注目を集めたボデガス・ヴォルヴェールは、スペインの職人的な造り手の象徴のような存在だ。「ヴォルベール」とはスペイン語で「帰る」という意味。土着品種の栽培と伝統的な醸造に回帰している当主ラファエル・カニザレスの哲学をよく表している。

ラ・マンチャはスペインの専門家には見逃せない産地。乾燥した標高の高い畑から、有機農法で生まれる「オーガニック

ク・ヴェルデホ」や「オーガニック・テンプラニーリョ」は、ピュアな果実と快活なエネルギーを宿して、パーカーポイントやヴィノスのポイントも常に高い。アリカンテからはメルセゲラ主体の白ワインやモナストレルの古木からの赤ワインを生産する。どのワインも目を疑うようなお手頃な値段で、スペインの懐の深さを思い知らされる。



- Paso a Paso Organic Verdejo / I.G.P. Castilla
- Paso a Paso Organic Tempranillo / I.G.P. Castilla
- Tarima Blanco /D.O. Alicante
- Tarima /D.O. Alicante
- Volver /D.O. La Mancha
- Tarima Hill /D.O. Alicante



## クリス・ラングランド手がけるカルト・ガルナッチャ

# Bodegas Alto Moncayo

ボデガス・アルト・モンカヨ



カルト的な人気を誇るオーストラリアのワインメーカー、クリス・リングランド。彼がスペイン北部アラゴン州で、ダン・フィリップスと始めたプロジェクトがアルト・モンカヨだ。パーカーポイント100点を4回もとったシラーズの専門家が、スペインで目をつけたのがガルナッチャ(グルナッシュ)。シラーズとの親和性は高く、醸造もぶれがない。

彼の本国のワインは極めて入手困難だが、スペイン産のワインならまだ手に入る。「ベラトン」はアクセル全開のガルナッチャ100%のワイン。爆発的なエネルギーが詰まっている。クリス・ラングランドのDNAが刻まれていることを考えれば、バーゲンと言ってもいい価格だ。「アキロン」は2014年がパーカーポイント94点。樹齢100年以上の古木から高いアルコール度で、凝縮した果実味をものにしてている。アラゴンのDOカンポ・デ・ボルハを世界に知らしめたワインだ。



- Veraton D.O. Campo de Borja
- Alto Moncayo D.O. Campo de Borja
- Aquilón D.O. Campo de Borja



## 純血性保つピュアなベルデホ

# Bodegas Angel Rodriguez Vidal

ボデガス・アンヘル・ロドリゲス・ヴィダル



Spain

近年のワイン評論家は、各地で固有品種を手掛ける生産者を探している。ロバート・パーカーは、ボルドーやローヌのフルーティなワイン好きと思われるが、昔から土着品種の発掘にも熱心だった。DOルエダを代表するこのボデガスも、2005年という早い時期に、2004年ヴィンテージを紹介している。17世紀からの歴史を持つベルデホ種はピュアで、シトラス系の香り、フレッシュな酸味とまろやかな果実味を持つ魅力的な白ワイン。ユズやシソを多用する日本人の味覚によく合う。魚や鶏料理に最適だろう。小石で覆われたラ・セカの痩せた土

壌に、樹齢100年以上のベルデホの苗木を1976年に植え、その純血性を保っている。フィロキセラの害を受けていない奇跡的な環境にある。ステンレスタンクで醸造されるクリーンなスタイルのワインは「ベルデホを正確に表現した見本となるバランスのとれたワイン」として、パーカーポイントも常に高い。現在、ビダル家の所有する畑は、総面積70ヘクタールに及び、アンヘル・ロドリゲスが2018年に亡くなった後は、娘のコンチ・ロドリゲスが四代目エノログとしてビダル家のワイン作りを引き継いでいる。



Martinsancho Verdejo



## 和食に合うアルバリーニョの職人

# Pazos de Lusco

パソス・デ・ルスコ



Spain

土着品種の宝庫スペインで、最も注目されている白ブドウの一つがアルバリーニョだろう。イベリア半島の大西洋に面したガリシア地方で栽培される。さわやかでありながら、熟した果実が詰まり、イチジクや柑橘系のアロマが華やかな白ワインとなる。これもまた、和食を引き立てる日本人好みの味わいだ。世界中で人気が出ている。

パソス・デ・ルスコはポルトガル国境から2kmの内陸部に位置する職人的なワイナリー。5ヘ

クタールの畑で、アルバリーニョをペルゴラ仕立てて栽培している。「ルスコ」とはガリシアの方言で「日没」を意味する。ブドウは手摘みし、傷つけないように小さなボックスで運ばれ、選果され、温度調節機能付きのタンクで発酵され、オリと共に寝かせる。鮮やかな緑がかった黄色で、生き生きした酸とミネラル感にあふれ、熟した果実とのバランスがとれている。パーカーポイントも安定している。



Lusco Albarino D.O. Rias Baixas



## 誇り高きスペインの至宝

# Bodegas Toro Albalá

ボデガス・トロ・アルバラ



Spain

1922年に創業した南部アンダルシア州のボデガス・トロ・アルバラは、DOモンティエリャ・モリレスを代表する存在。創業者の一族が経営し、スペインの至宝と呼ばれる。ペドロ・ヒメネスを主体に、シェリーと同様のソレラシステムで熟成させる。辛口から中辛口タイプのフィノ、アモンティエリャード、オロロソ、甘口タイプのドン・ペーエクス(PX)・グランレゼルバ、ドン・ペーエクス(PX)・コンベント・セレクションを生産している。強くて長い日照とミネラルを含む土壌から生ま

れるワインは圧倒的だ。

「ドン・ペーエクス・コンベント・セレクション 1946年」には、パーカーポイント100点が与えられた。それだけでも、このボデガスの偉大さがわかるが、フィノ・エレクトリコやオロソソなどのリーズナブルなレンジも安定した得点を得ている。シェリーと製法は似ているが、モンティエリャ・モリレスを名乗る誇り高き産地のワインだ。



Don PX Grand Reserva 375ml

Don PX "Convento" Seleccion



## 世界のメディアやコンクールで賞を総なめ 冷涼な気候と最新の醸造技術の融合

# Golan Heights Winery

ゴラン・ハイツ・ワイナリー



### 数千年以上の歴史を持つイスラエルの産地

イスラエルとワインのつながりは長い。旧約聖書にも記載があり、数千年以上前からワインが造られている。ゴラン高原は戦乱の地というイメージがあるかもしれないが、紛争地帯はブドウ畑から離れている。

ゴラン・ハイツ・ワイナリーは、イスラエルのパイオニアとして、国際的な評価を受けてきた。2008年、ワイン・スペクテーターの年間トップ100に選ばれた。2011年、イタリア最大の見本市ヴィニタリーで世界30か国の1000軒のワイナリーから、その年の最高生産者に選ばれた。2012年、アメリカのワイン・エンスージアスト誌で、新世界のベスト・ワイナリーに選出。いずれも、イスラエルのワイナリーとしては初めてだった。



そして、2013年3月。東京で開かれた世界最優秀ソムリエコンクールの決勝戦で、ヤルデンのピノ・ノワールが、ブラインド・テイस्टングのワインとして出題された。3選手のどれも当てられなかった。世界の頂点を決める大会に使われたのは、その実力が世界レベルにあり、知っておくべきワインだということを意味する。

### 生産される多彩なワインがいずれも高水準

ワイナリーがゴラン高原の小さな街カツリンに誕生したのは1983年。高原は涼しく、火山灰土壌で水はけに優れている。雨は冬にまとめて降り、夏の乾燥期の灌がい用水となる。畑の標高は400～1200メートルに広がり、寒暖差によりブドウには酸が乗る。

気候条件もさることながら、強みは最新の醸造施設を取り入れていることだ。畑に様々な観測機器を設置し、気象やブドウの熟度などのデータを収集している。ワインメーカーのヴィクター・ショーンフェルドはカリフォルニアで学んだ知識を、旧世界の気候に適用している。

スパークリングワインから、ボルドー品種、ブルゴーニュ品種、デザートワインまで多彩なワインが生産されているが、いずれも水準が高い。



Yarden Blanc de Blancs

Yarden Chardonnay

Yarden Pinot Noir

Mount Hermon Red

Yarden Heights Wine



## ゴラン・ハイツ・ワイナリーの姉妹ワイナリー 国際コンクールで多数の入賞歴

# Galil Mountain Winery



ガリル・マウンテン・ワイナリー

### 標高1000メートルの冷涼な気候から緊張感

イスラエルは四国と同じ程度の広さの国土に土壤も気候も異なる5つの産地がある。ガリル・マウンテン・ワイナリーがあるのは、最北部ガリラアのアッパー・ガリラア。レバノン国境が肉眼で見える丘陵地帯で、火山性土壤とテラロッサが交じる。標高1000メートル以上の冷涼な気候を生かして、一般的な暑いイメージとは異なる緊張感のあるワインが生まれる。

このワイナリーは、ゴラン・ハイツ・ワイナリーとキブツ・イーロンが2000年にジョイント・ヴェンチャーとして設立された。いわば姉妹ワイナリーだが、ゴラン・ハイツよりはるかにモダンだ。ナパヴァレーの先端ワイナリーを連想させるモダンな施設を備えている。太陽光発電で電力をまかない、効率的な排水システムを導入し、エネルギー消費の削減に努めている。

### モダンでエレガントなワイン造り

ゴラン・ハイツを世界舞台に引き上げたワインメーカー、ヴィクター・ショーンフェルドのアドバイスも受け入れながら、国際市場で通用するモダンでエレガントなワイン造りに取り組んでいる。その実力を示すのが、コンクールの受賞歴だ。フランスのシタデル・デュ・ヴァン、ドイツのムンドゥス・ヴィニなどで入賞している。

シラー主体にカベルネ・ソーヴィニヨンとプティ・ヴェルドをブレンドした「メロン」は、2011年がムンドゥス・ヴィニで金賞。ボルドー・ブレンドの「イーロン」も、2011年がムンドゥス・ヴィニで金賞に輝いた。2つの赤ワインは、アッパー・ガリラアの複雑な土壤と寒暖差の大きい気候を映すテロワールのワインだ。シャルドネにヴィオニエをブレンドした「アヴィヴィム」はリッチでフルーティ。どれもイスラエルのポテンシャルを見せつけてくれる。



Avivim

Merlon

Yiron



# バロッサ・ヴァレーに 新たな伝説を確立

## Torbreck

トルブレック



ロバート・パーカーが選ぶ世界の偉大なワイナリー156のひとつ  
The World's Greatest Wine Estates Robert M. Parker

トルブレックはオーストラリアで最も有名な産地バロッサ・ヴァレーに、新たな伝説を打ち立てた。

デイヴィッド・パウエルが1994年に設立し、ローヌ品種の古木から造る凝縮したワインで、すぐに国際的な評価を得た。パウエルが2013年にワイナリーを去った後も、ピート・ナイトが経営し、イアン・ホンゲルを中心とする醸造チームが、そのまま仕事を引き継いでいる。

ロバート・パーカーは最初からトルブレックのファンで、高得点を連発して、スターダムに乗せた。

「赤ワインはすべて、高価でないキュヴェですら見事。ラン・リグは世界で最もファッションブルなワインの一つになった。オーストラリア版ギガルのコート・ロティ・ラ・ムーリンヌとして、お金を払うに値する」

ラン・リグとディシェンダントはヴァンテージによってわずかなヴィオニエをブレンドする。ザ・ピクトはマタロ(ムールヴェ

ドル)100%、レ・ザミはグルナッシュ100%。力強く、果実味にあふれているが、無理に抽出するわけではない。収量の低い古木からのブドウからあふれ出す自然なエキスを大切にしている。バロッサ・ヴァレーのほかの生産者よりは、ローヌのギガルやシャヴとの距離の近さを感じさせる。リーズナブルなウッドカッターズのレンジは、パーカーも書いているように超お買い得だ。

2014年に、パーカーポイント100点を獲得した単一畑ザ・レアードに使う畑も購入した。まだ進化を続けている。



- Woodcutter's Semillon
- Woodcutter's Roussanne Viognier Marsanne
- The Steding Blanc
- GMS / GSM
- Woodcutter's Shiraz
- Cuvée Juveniles
- The Steding
- The Struie
- Descendant
- The Factor
- Les Amis
- The Pict
- Run Rig
- The Laird



## 伝説の第二章が幕開け デヴィッド・パウエルが親子で再出発

# Powell & Son

パウエル&サン



### 樹齢50年以上の単一畑にフォーカス

トルブレック設立から20年。数々の伝説を打ち立てたデヴィッド・パウエルが2013年に古巣を去り、息子カラムと新たなプロジェクトを始めた。「パウエル&サン」。シンプルな名前から、バロッサ・ヴァレーの歴史を塗り替えた大男の意気込みが感じられる。親子の狙いは樹齢50から120年の古木の単一畑を探し出して、畑の個性を表現したワインを造ること。その狙いは早くも達成され、ワイン・アドヴォケートを初めとする世界の評論家を打ちのめしている。

### 冷涼なエデン・ヴァレーのエレガンス

今回のベンチャー事業で注目すべきはエデン・ヴァレーからリースリングとシラーズを生産していること。バロッサ・ヴァレーはカリフォルニアのナパヴァレーに相当する有名産地だが、エデン・ヴァレーはそれほど有名ではない。まだ開拓されていない畑が残っている。温暖化が進む中でバロッサより涼しいのも利点だ。「バロッサ&エデン・ヴァレー・シラーズ」や「レイケル・エデン・ヴァレー・シラーズ」は力強さと優雅さが入り混じった新境地をうかがわせる。ドミニク・ローランの新樽で熟成したフラッグシップの一つ「クレー・マランガ・シラーズ2016」はパーカーポイント98点。「卓越した優美さとエレガンスをたたえている」と評された。

有機栽培か、ビオディナミのブドウを使い、剪定から畑の



手入れまですべてを親子の手で行っている。小樽、フードル、パンションを組み合わせて醸造し、豊満な果実とフレッシュ感のバランスをとっている。トルブレック時代から、実は白ワイン造りの名手でもあったが、樹齢90年の樹から造る「エデン・ヴァレー・リースリング」を飲めば、パウエルが赤も白もうまくこなす非凡なワインメーカーだということはよくわかるだろう。伝説の第二章が幕をあけた。



- Eden Valley Riesling
- Barossa Valley Roussanne Marsanne
- Riverside GSM  
(Grenache Mataro Shiraz)
- Barossa Valley Shiraz
- Barossa & Eden Valleys Shiraz
- Barossa Valley GSM  
(Grenache Shiraz Mataro)
- Loechal Eden Valley Shiraz
- Brennecker Seppeltsfield Grenache
- Kraehe Shiraz
- Steinert Shiraz



リサ・ペロッチェ・ブラウン MWのお気に入り

# Australian Domaine Wines



オーストラリアン・ドメヌ・ワイン

広大なオーストラリアでは、優れた栽培農家との関係がワインの品質を決める。オーストラリアン・ドメヌ・ワインズ (ADW)は、ベンとマリオのバルレッタ兄弟が1998年に設立。南オーストラリア州の契約農家と良好な関係を結んで、プレミアムワイン産地から、秀逸なワインを生産している。パロッサ・ヴァレー、マクラレン・ヴェール、クレア・ヴァレー、ラングホーン・クリーク、ライムストーン・コースト、リヴァーランド。そのまま、オーストラリアのプレミアムワイン地図が出来上がる。

トップブランドはマクラレン・ヴェールから生まれる。シラズ、グルナッシュ、カベルネ・ソーヴィニオンをブレンドする「ハットトリック」、シラズ、テンプラリーニョ、グルナッシュ、メルロ、カベルネをブレンドする「デフ・ガラー」、シラズとカベルネ・メルロがある「アライアンス」。どのレンジも優れている。「ADW」は信頼のブランドなのだ。

ロバート・パーカーの信頼が厚いワイン・アドヴォケイト編集長のリサ・ペロッチェ・ブラウン MWは「バルレッタ兄弟はアライアンス・レーベルで、一貫してお手ごろなワインを生産してきた。デフ・ガラーもトライする価値がある。このダイナミックなデュオは、個人的なお気に入りだ」と賞賛している。



Alliance Cabernet-Merlot

Alliance Shiraz

Deaf Galah

The Hatrick



## 人生は短いからヌーンを飲まずにいられない

# Noon

ヌーン



ロバート・パーカーが選ぶ世界の偉大なワイナリー156のひとつ  
The World's Greatest Wine Estates Robert M. Parker



ヌーンは赤ワインのみを生産する家族経営の生産者。カルトワインという言葉が似合うワイナリーは、オーストラリアにわずかしかない。

オーストラリアでは、ワイナリーのセラードアでの試飲や直接販売が当たり前だが、ヌーンを訪問するのは難しい。数週間で売り切れて、閉まってしまうからだ。南オーストラリア州はもちろん、全土に熱狂的なファンが存在する。日本のショップをネットで見た現地のファンから「なぜ売っているのか」という問い合わせがあったほどだ。

ドリューとレーガンのヌーン夫妻はマクラレン・ヴェールのワイナリーを引き継ぎ、1996年がデビュー・ヴィンテー

ジとなる。1930～1940年代のグルナッシュ、1960年代のシラズ、1970年代のカベルネ・ソーヴィニオンという古木ばかり。粘土・ローム質土壌に植え、濃厚で凝縮した、ギリシャ彫刻のように彫りの深いワインを生産している。

リザーヴ・カベルネ・ソーヴィニオンとリザーヴ・シラズも素晴らしいが、圧巻はフラッグシップのエクリプス。グルナッシュとシラズをベースに、2008以降はカベルネ・ソーヴィニオンとグラシアーノをブレンドしている。これによって、緊張感と複雑な味わいが増した。

ロバート・パーカーは常に90点以上のポイントを与えてきた。こんな名言をもらしている。

「人生は短いから、ドリューとレーガンの造るヌーンを飲まないわけにはいかない」



Reserve Shiraz

Reserve Cabernet

Eclipse





# 冷涼なマールボロから 本場にひけをとらないピノ・ノワール

## Delta Wine Company

デルタ・ワイン・カンパニー



### 海の影響を受けた抑制されたスタイル

ピノ・ノワールの産地はブルゴーニュだけではない。専門家は新世界に注目している。ニュージーランドやオーストラリアの冷涼な畑から、本場にひけをとらないワインが生まれている。デルタ・ヴィンヤードが生まれるマールボロもその一つだ。

フライング・ワインメーカーのマット・トムスン、栽培家のニール・イボットソン、ロンドンに本拠を置く輸入業者でマスター・オブ・ワイン(MW)のデビッド・グリーンズの3人がマールボロの可能性に着目し、ジョイント・ヴェンチャーを立ち上げた。現在は、イボットソンがエグゼクティブ・ディレクターとして単独でオーナーを務め、トスカナとカリフォルニアでワイン作りの研鑽を積んだ醸造家のヘザー・スチュワートが2015年よりワイン作りを継いでいる。ワイラウ・ヴァレー南部のピノ・ノワールの単一畑に始まったデルタ・ワインは、マールボロ周辺のユニークな特性を持つ畑を買い足しながら徐々に拡大し、自社畑は今や、マールボロのワイラウ・ヴァレーから、ホークス・ベイのギムブレット・グラヴェルまで広範囲に及ぶ。

マールボロは海の影響を受け、激しい風の吹く冷涼な産地。涼しすぎて、ボルドーの赤品種は難しいが、ピノ・ノワールやソーヴィニヨン・ブランには適している。新世界にありがちな凝縮したスタイルではなく、ヨーロッパと同じ抑制されたワインが出来上がる。ピノ・ノワールは野バラ、チェリーの涼やかな香りが心地よい。ソーヴィニヨン・ブランはミネラル感と心地よい酸がある。



### 飲みやすい味わい豊かなモダン・スタイル

世界のメディアが、デルタのワインを評価している。イギリスを代表するワイン専門誌のデキャンタは、ニュージーランドのピノ・ノワール特集で、最高評価となる5つ星を与えた。ロバート・パーカーもデルタのお買い得さを評価し、著書「世界のベスト・ヴァリュウワイン」で紹介した。

ピノ・ノワールは「澄んだフランボワーズ、クランベリー」の香り、豊かで寛容、飲みやすい味わい豊かなモダン・スタイル」と評し、ソーヴィニヨン・ブランは「グースベリー」の典型的ソーヴィニヨンの香り。青い緑の果実を思わせるきびきびとして生き生きとした味わい」と評している。



Delta Hatters Hill Pinot Noir Marlborough

Delta Pinot Noir

Delta Sauvignon Blanc





# 単一畑のピノシャルドネ、ジンファンデルに特化 パーカー5つ星のスーパースター・エステート

## Hartford Family Winery



ハートフォード・ファミリー・ワイナリー

### 通向けの隠れた宝石

開拓され尽くしたカリフォルニアのブティック・ワイナリーの中でも、このハートフォードだけは、かなりの通でも飲んだことがないという隠れた宝石だ。生産量が少ないため、市場に出回らない。ワインクラブの会員のセラート、高級レストランに直行する。

ロバート・パーカーのワイン・バイヤーズ・ガイドで、ピノ・ノワールとジンファンデルが5つ星を獲得している数少ない生産者だ。ワイナリーとしての評価も5つ星。

「ジェス・ジャクソン夫妻の所有するブティック・ワイナリーのポートフォリオにあるスーパースター・エステートの一つ。冷涼な気候から造るシャルドネ、ピノ・ノワール、ジンファンデルに特化している。際立った個性と喜びをもたらす性格を備える、ワクワクさせられる単一畑に注力している。価格は優良な品質の割に現実的だ」

巨大帝国ジャクソン・ファミリー・ワインズ傘下であり、ソノマのロシアン・リヴァー・ヴァレーに本拠を置く。ハートフォード夫妻が1994年に設立し、デ・ローチやラ・クレマを手掛けたジェフ・スチュワートがワインメーカーを務める。強みは、93〜800ケースしか生産されないピノ・ノワールと

シャルドネの単一畑、樹齢80〜100年に達するジンファンデルだ。ピノ・ノワールとシャルドネは、ソノマ・コースト、ロシアン・リヴァー・ヴァレーなどの冷涼な畑のブドウを使用。ジンファンデルはロシアン・リヴァー・ヴァレーからブドウを入手する。



### 伝統的な醸造 高価すぎない価格

畑の一部にバイオダイナミクスを導入し、収穫は手摘み。ピノ・ノワールとジンファンデルは除梗し、低温浸漬を経て、自然酵母で発酵。フレンチオークで熟成し、清澄もろ過もせず瓶詰めされる。伝統的な醸造手法を採用し、畑の個性の表現に努めている。

1990年代後半には、ホワイトハウスで何度も供された。パーカーは2002年の「ワイン・パーソナリティ・オブ・ザ・イヤー」に選び、ワイン&スピリッツやデカンターなど主要なワイン誌からも高く評価される。価格高騰が進むカリフォルニアにあって、比較的リーズナブルな値段も魅力的だ。



Hartford Court Russian River Zinfandel

Hartford Court Far Coast Chardonnay

Hartford Court Fog Dance Pinot Noir



## 先見の明が生きるカベルネの王者

# Diamond Creek Vineyards

ダイヤモンド・クリーク・ヴィンヤーズ



カリフォルニアのカベルネ・ソーヴィニヨン語る時、ダイヤモンド・クリークは外せない。アル・ブラウンシュタインは1967年、マヤカマス山脈のダイヤモンド・マウンテンの斜面を購入した。ヴァレー・フロアの平坦地でブドウを栽培するのが普通の時代に、コストのかかる斜面にブドウを植えるのは賭けだった。

しかし、アルは挑戦を恐れなかった。カリフォルニアワインの父と言われるアンドレ・チェリシェフのアドバイスを信じていた。自らブルドーザーを操縦し、巨岩や巨木を切り開いた。彼の先見の明は、斜面や山岳部から後になって、カルトワインが生まれたことで証明されている。



アルにはほかにも先見の明があった。今では当たり前だが、カリフォルニアにテロワールがあることに気づいていた

のだ。3つの異なる土壌からワインを別々に仕込んだ。ヴォルカニック・ヒル、レッド・ロック・テラス、グラヴェリー・メドーがそれだ。その後、レイクが加わった。当初はカベルネ・ソーヴィニヨン100%で造った。その苗木はボルドーの1級シャトーからひそかに購入したと言われる。今はメルロとカベルネ・フラン、プティ・ヴェルド、マルベックがブレンドされる。

ワイン・スペクテーターのジェームス・ロビーは「カリフォルニアのカベルネ生産者のトップ5に入る。カリフォルニア・カベルネの個性豊かな魅力は、ダイヤモンド・クリーク抜きでは語れない」と賞賛している。



Volcanic Hill

Red Rock Terrace



## 山ジンファンデルのスペシャリスト

# Edmeades

エドミーズ



ジンファンデルが濃厚で、ジャミーなワインというのは10年前の話だ。カリフォルニアの先端を行く造り手たちは、ピノ・ノワールのようにエレガントで、産地の個性を生かした「ジン」を造っている。

エドミーズもその一つだ。スパークリングワインも産するメンドシーノ郡の山岳部にも、畑を有する。冷涼な気候と表土の薄さを生かして、エレガントだがコクのあるワインを世に出している。ワインメーカーはベン・サラザー。パーカーポイント100点を連発するロコヤやカーディナルのワインメーカー、クリス・カーペンターから、山岳部のブドウ栽培を学んだ。砕いたイチゴや砂利、タバコの香りがするところが、ナパやソノマのジンファンデルとは一線を画している。



エドミーズの創設者はドナルド・エドミーズ博士。1963年にメンドシーノ郡フィロの町に、ブドウを植えたところから始まった。88年にジェス・ジャクソンに買収され、ジャクソン・ファミリー・ワインズの傘下に入った。ジャクソン・グループは、個性的なワイナリーが多い。ロコヤとカーディナルも「山で造るカベルネ」のスペシャリスト。ベンはクリスの優秀な弟子だ。ワイナリー間の人的な交流が盛んで、それが品質の向上につながっている。

単一畑も手掛けるが、まずは「エステート・メンドシーノ・カウンティ」から。ジンの見方が変わるの間違いはない。



Mendocino County Zinfandel



## 現在進行形で進化中 ジューシーでまろやかなマルベック

# Bodega Valentin Bianchi



ボデガ・ヴァレンティン・ビアンキ



### ジューシーでまろやかなマルベック

マルベックで世界の注目を集めるアルゼンチン。よくワインを飲むお国柄で、ワインは日常の飲み物だ。消費量は世界7位で、1人当たりの年間消費量は28リットルに達する。それだけに、味と価格のバランスにはうるさい。ボデガ・ヴァレンティン・ビアンキは、アルゼンチン人も、世界的な評論家ロバート・パーカーも認める生産者だ。

ヴァレンティン・ビアンキは、母国イタリアからアルゼンチンに1910年に移住した。戦前には既にブエノスアイレスで知られた存在だった。アルゼンチンのワイン首都とも言えるメンドーサ州のサン・ラファエル地区に拠点を構える。年平均降水量は300mm、湿度は55%という乾燥した土地で、病害の心配がいらぬ。水が足りないストレスに苦しみながら、根を地中深くに伸ばす。

ここの強みはやはりマルベック。標高の高い冷涼な畑で、タンニンは熟し、酸のたっぷりとのった凝縮した実をつけ、ジューシーでありながら、しっかりした骨組みがあり、飲みやすいのが特色。パーカー率いるワイン・アドヴォケイトも安定して得点をつけている。ワイナリーが多くて、お手ごろな値段の多いアルゼンチンで、ワイン・アド

ヴォケイトが評価するというだけでもすごいこと。まろやかで、濃厚なカベルネ・ソーヴィニヨンも国際水準の出来だ。

白ワインも見逃してはいけない。シャルドネもいいが、トロンテスはアルゼンチンを代表する白ブドウ。エキゾチックな果実味があり、エスニックフードにぴったり。現在進行形で進化中のアルゼンチンを象徴する生産者だ。



Elsa Bianchi Chardonnay

Elsa Bianchi Torrontes

Elsa Bianchi Malbec

Elsa Bianchi Cabernet Sauvignon

Famiglia Bianchi Malbec

## ポートの歴史を造ってきた名門

# Symington

シミントン



Portugal/Port



シミントン家の所有するワレは、ポートワインの象徴的な生産者だ。1670年、ポルトガルに設立された最も古いイギリスのポート・メーカー。ワレがポートの歴史を作ってきたといっても過言ではない。世界のプレミアム・ポートの3分の1以上を販売している。

ワレの歴史は、1882年にスコットランドからポルトガルに渡ったアンドリュー・ジェームス・シミントンが、ベアトリス・アトキンソンとオポルトで結婚したことから始まる。13代目となる6人のメンバーが今も家族経営の伝統を守り続けている。シミントン家は1950年代にワレ家より株を購入し、ブドウ栽培か

ら醸造販売に至るまで、すべてを管理している。

ポートワインの生まれるドウロ渓谷は、世界遺産に登録されている。切り立った斜面に段々畑が広がり、蛇行したドウロ川に貫かれている。この地を訪れて、自然の偉大さとそれを活用する造り手の苦勞に感動しない人間はいない。産地によって、味わいは異なる。シミントンは渓谷でも優れたキンタ・ダ・カバディンハなどの畑から、すべての美点を備えたポートを造っている。骨組み、力強さ、優美さ、芳醇な香りなど、非の打ちどころがない。

シミントンのポートを飲まなければ、ポートの真髄にふれたことにはならない。



Quinta do Vesuvio  
Vintage Port



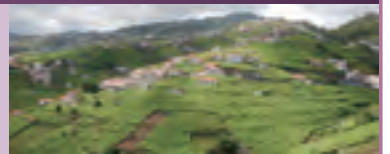
## 時間を買うぜいたくな飲み物

# Justino

ジュスティーノ



Portugal/Madeira



マデイラは時間を買うぜいたくな飲み物だ。

ジュスティーノは1870年にマデイラ島で設立された最も古い生産者の一つ。技術力の高さから、市場では傑出した存在と評価されている。

10年間の樽熟成の後、何も手を加えずに瓶詰めする。カラメルを加えて強さを出すワイナリーは多いが、それは決してしない。酒精強化ワインは、人工的なワインのように思われがちだが、実は違う。決め手になるのはやはりブドウの力なのだ。ブアル種の持つ深いコクをピュアに表現している。

カンテイロと呼ばれる伝統的な手法で、ゆっくりとオーク樽で熟成する。熟成したワインは、清澄、ろ過され、瓶詰めされる。濃厚なダークチョコレート、蜂蜜、レーズンなど複雑で力強い香りに、ノックアウトされる。そのままデザートに飲むのが最高のぜいたくだが、肉料理のソースに使うとまた別の表情を見せる。太陽の力に育まれたブドウのパワーが芳醇なソースを生むのだ。

マデイラのもう一つの美点は、開けてから数カ月間は楽し



めること。酸化熟成したスタイルなので、急におとろえることがなく、おいしくいただける。

せつかく時間を買った飲み物なのだ。飲む時も時間をかけるのも、ワインに敬意を払う飲み方かもしれない。



Justino's Madeira  
Boal 10 years old

# ミニ・ボトル・セレクション

187ml mini Bottle Selections

ミニボトルはカジュアルに楽しめる飲みきりサイズ。スクリーキャップのため、取り扱いも簡単。



Charles Meras Organic  
V.V. Chardonnay



France /  
Languedoc-Russillon



Charles Meras Organic  
Merlot / Cabernet



France /  
Languedoc-Russillon



Charles Meras Côtes  
du Rhône Rouge



France / Rhone



Bordeaux I.G.P. Blanc  
Haut Faubourg



France / Bordeaux



Bordeaux I.G.P. Rouge  
Haut Faubourg



France / Bordeaux

## ノンアルコール

### Manoir des Sacres

マノワール・デ・サクレ

伝統的なフランスのワイン造りのノウハウを活かしたノン・アルコールの果汁飲料。マノワール・デ・サクレの設立者ジェニー・クゴート・ルランが、アルコールの禁止されているアラブ首長国連邦で行われた王族の結婚式に招かれた際にひらめいた。

美しいクリスタルのフルートグラスで、フルーツ・ジュースを飲んだ時に、ノン・アルコールの高貴なスパークリング飲料を思いついた。2年の歳月をかけ、醸造家や食品専門家に依頼し、ラグジュアリーな泡を目指した。ガメイ、プールサル、シャルドネ、ミュスカなど5-7品種の主にフランス産のブドウの果汁を使用。運転時や特別な贈り物としてピッタリな1本。



So Jennie Rosé



France

## オリーブオイル

### Château de Montfrin

シャトー・ド・モンフラン

飲むオリーブオイルと呼ばれる、ピュアでフルーティーな逸品。アルベキナ種の単一品種のみから搾られていて、個性豊かな香りと風味が特徴。澄んだ金色で、青りんごのフルーティーな香りがし、若いアーモンドのようなほろ苦い味わいが口に残る。後味はまるやかなアーモンドが香る。

シャトーは南仏ラングドックに位置する。夏は強い太陽が照りつけ、冬は突風ミストラルが吹き、一年を通じて適度に乾燥している。早めに収穫し、高品質の指標となる酸度の低さを最優先し、化学的な処理はいっさいしていない。新鮮な状態でボトリングをしている。



HUILE D'OLIVE



France

*Millésimes*

株式会社 ミレジム

〒101-0048 東京都千代田区神田司町2-13 神田第4アメレックスビル7F

TEL:03-3233-3801 FAX:03-3295-5619

<http://www.millesimes.co.jp>

※在庫状況は担当営業にお問い合わせください